

平成31年4月26日

新潟市議会議長 永井武弘様

会派名 新市民クラブ

議員名 田辺 新



平成30年度政務活動費収支報告書

新潟市議会政務活動費の交付に関する条例第9条に基づき、平成30年度政務活動費収支報告書を提出します。

1 収入 (単位 円)

	金額	備考
政務活動費	1,440,000	@120,000×12月

2 支出 (単位 円)

科目	金額	備考
調査研究費	183,657	別紙のとおり
研修費		
広報費	648,864	別紙のとおり
広聴費	78,736	別紙のとおり
要請・陳情活動費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費	129,498	別紙のとおり
人件費		
事務所費		
合計	1,040,755	

3 残額 399,245円



様式4

支出伝票一覧表

会派名	新市民クラブ		議員名	田辺新
支出年度	平成30年度	支出項目	調査研究費	NO. 1
整理番号	支出年月日	支出内容	支出金額(円)	備考
1	H30.8.10	中国遼寧省瀋陽市など視察経費	145,000	
2	H30.12.25	農政議連・農業先進地視察経費	33,000	
3	H31.3.31	新潟市議会市政調査会会費	5,657	研修会開催経費
		小計	183,657	
		合計	183,657	

## 支 出 伝 票

会 派 名	新市民クラブ	議 員 名	田 辺 新
支 出 年 度	平成30年度	整理番号 (項目別)	1
支 出 項 目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	平成30年7月9日から平成30年7月12日		
支出年月日	平成30年8月10日		
支 出 金 額	145,000円		
支 出 先	新潟交通株式会社		
使 途 内 容	中国遼寧省「瀋陽市・丹東市」視察研修旅費		
備 考	主催：日中友好新潟市議会議員連盟 <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span> 除く		
領収書貼付欄			

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。



# 領収書添付用紙

領 収 書 BNo. 781744

平成 30 年 9 月 10 日

田 辺 新 様

下記金額正に領収致しました

新潟市中央区有田町4丁目6番1号

新潟交通株式会社

¥ 155,000-

7/9~12 旅行費として

発行所

取扱者印



旅行販売一課

内、消費税

円を含む

取扱者印なきものは無効

経理46. B6. 複

※重ならないように貼付してください。

**日中友好促進新潟市議会議員連盟 様**

2018年7月9日～12日

瀋陽・丹東訪問

新潟交通株式会社  
旅行部 旅行販売1課

Tel 025-271-6266

担当

**ご旅行費用請求書**

基本費用	単価	数量	金額	摘要
航空券代(ANA)	77,600	1	77,600	新潟～成田～瀋陽～成田～新潟
宿泊代(1泊朝食)	11,800	1	11,800	瀋陽ソフィテルクラス
宿泊代(1泊朝食)	12,500	1	12,500	丹東フレンドシップホテルクラス
宿泊代(1泊朝食)	11,800	1	11,800	瀋陽ソフィテルクラス
高速鉄道(2区間)	5,800	1	5,800	瀋陽～丹東～瀋陽
専用車・日本語通訳	25,290	1	25,290	4日間(マイクロバス)
小 計			144,790	
付帯費用	単価	数量	金額	摘要
燃油サーチャージ	5,000	1	5,000	
成田空港使用料	2,610	1	2,610	
現地空港税	2,600	1	2,600	
旅行傷害保険				任意
小 計			10,210	
合計金額			155,000	
合計金額			¥155,000	

このたびはご用命いただきありがとうございます。

上記のとおり請求させていただきます。何卒よろしく願いいたします。

新潟交通株式会社・営業1係

# 視察（出張）報告書

平成30年 7月 16日

新潟市議会議長 様

氏名 田辺 新



下記のとおり、視察（出張）が終了したので報告します。

視察議員	別紙報告書のとおり
期 間	平成30年7月9日（月）～ 12日（木）
視 察 先	中国瀋陽市、丹東市
視 察 用 務	日中友好促進新潟市議会議員連盟 中国行政視察
視察先面会者	別紙報告書のとおり
概要及び所見	別紙のとおり

日中友好促進新潟市議会議員連盟 主催

# 中国遼寧省「瀋陽市、丹東市」 視察研修事業報告書



平成30(2018)年7月9日(月)~12日(木)

## 1 視察訪問目的

今回の目的は3点です。

一つは、新潟とゆかりの深い遼寧省における日本（新潟）進出企業の現状と課題及び今後の展望について調査をすること。

二つは、新潟県と友好協定を結ぶ遼寧省の2都市を訪問し、友好交流から相互の観光交流拡大への道筋をつけるための課題を探ること。

三つは、訪問は省都である古都「瀋陽」と中国総領事館総領事孫大剛氏の出身地である「丹東」を予定。特に丹東は北朝鮮と鴨緑江を隔てて国境を接し、中国と北朝鮮との窓口都市で、メディアでも紹介される世界の注目の地。

拉致被害者の全員救出に取り組むためにも、北朝鮮と接する中国の窓口を訪問視察し、現地の状況を調査すること。

## 2 参加者名簿

	役 職	氏 名	会 派
1	団 長	金子 益夫	新潟市政クラブ
2	副団長	佐藤 幸雄	保守市民クラブ
3	幹事長	小泉 伸之	無 所 属
4	幹 事	田辺 新	新市民クラブ
5	幹 事	加藤 大弥	民主にいがた
6	幹 事	串田 修平	新潟市政クラブ
7	幹 事	青野 寛一	無 所 属
8		佐藤 豊美	新潟市政クラブ
9		山田 洋子	保守市民クラブ
10		渡辺 和光	民主にいがた
11		栗原 学	新潟市政クラブ
12		南 まゆみ	民主にいがた

3. 日 程

Date	City	Transport	Localtime	Tour Condition	
1	7/9 (月)	新潟空港	NH3240	14:35	集合 13:30 新潟空港 ANAにて成田経由、瀋陽へ  ※瀋陽空港到着後～ホテルへ
		成田空港 成田空港 瀋陽空港	NH925	15:40 18:50 21:20	
宿泊：遼寧友誼賓館					
2	7/10 (火)	瀋陽	バス 専用車	10:00- 12:00	◆瀋陽企業華美畜禽集団視察（焼き鳥加工工場） （企業視察） 新幹線にて国境の町・丹東へ  ◆丹東市人民代表大会との意見交換会 大塚朗（丹東日本人会会長）同席
		瀋陽南駅 丹東駅	G395	14:49 16:17 17:00- 19:30	
宿泊：丹東フレンドプラザホテル					
3	7/11 (水)	丹東駅	バス 専用車	10:00- 13:00	◆丹東市内視察 ◆丹東東田果蔬种植設備有限公司（室内専用の水耕栽培設備を販売）◆丹東瀋田模具製造有限公司 上記3か所対応：大塚朗 丹東瀋田副総経理（丹東日本人会会長） 新幹線にて瀋陽へ  ◆遼寧省人民代表大会との意見交換会 ・瀋陽中越商貿有限公司（中越グループ） 金子格 副総経理同席
		瀋陽南駅	G396	14:28 15:55 18:00- 19:00	
宿泊：遼寧友誼賓館					
4	7/12 (木)	瀋陽空港	NH926	10:40	瀋陽空港より帰国の途へ  入国手続き～国内線～移動
		成田空港 成田空港 新潟空港	NH3239	14:50 17:40 18:45	

■現地担当者：遼寧省外事弁公室アジア処 李向榮研究員（前アジア局長）

遼寧省外事弁公室 應中元（党組書記、主任） 王佩瑜（通訳）

瀋陽仲謁商貿有限公司（中越クリーンサービス）金子格（総経理）XXXXXXXXXX（通訳）

#### 4 視察概要

(1) 7月10日(火) 10:00~12:00

視察先＝瀋陽企業華美畜禽集團視察（焼き鳥加工工場）（企業視察）

面談者＝三菱商事生鮮品本部畜産部 瀋陽華美畜禽有限公司 ████████ 他



瀋陽・華美畜禽集團の事業展開について

##### ○ 事業の概要

華美畜禽集團は、鶏の飼育から鶏肉加工・製品化、そして輸出まで手がけている合弁会社である。日本の総合商社「三菱商事」の出資比率が49%である。

主に「焼き鳥」を中心に製品化しているが、生産量は年間約8,000トンであり、販売額は約3億元（赤字ではないとのこと）。ここ数年は横ばいで推移しているとのこと。その80%が日本向けの輸出であり、韓国にもわずかに輸出しており、中国国内に20%弱の出荷とのことである。

ちなみに、日本における主な顧客は「青がイメージカラーのコンビニエンスストア」とのことである。

##### ○ 現状の課題

現状の課題としては、何と云っても社員の確保策に尽きることである。立地場所は瀋陽のはずれなので、農民を中心に人手は何とか確保しているが、今後の規模拡大に向けて賃金面での課題も含めて、対応が急がれるとのことである。

生き物の飼育で問題となる糞対策については、すべて焼却処分とのことである。

##### ○ 今後の展望

製品の種類をから揚げやローストチキン・バンバンジーなどにも増やし、生産量を今後の10年間で4万5千トンまで拡大したいとのこと。まさに勢いを感じさせるコメントがあり、今後何かと注目していきたい。

(2) 7月10日(火) 17:00~19:30

視察先=丹東市人民代表大会との意見交換会



(丹東市側)

刘煥成 丹東市人大常委会副主任

杜 慧 丹東市外事办公室主任

车文愛 丹東市人大民侨外委主任

邢春龙 丹東市外事办公室副主任

吴婧雅 丹東市外事办公室翻译

同 席 大塚 朗 丹東日本人会会長(丹東滝田副總經理)

王佩瑜 遼寧省外事弁公室通訳

■■■■ 瀋陽中越商貿有限公司(中越グループ)通訳

最初に丹東市から刘市人大常委会副主任より歓迎の挨拶に続き、丹東市の概要を報告いただいた。丹東市は遼寧省南部に位置し、面積は15,025 km<sup>2</sup>、人口は244万人、市轄は三つの区、二つの県級市、一つの県。中国海岸線の北端の起点、東は朝鮮民主主義共和国の新義州と川を挟んで眺められ、中国で最も美しい辺境都市と言われていると説明。

また代表団からは金子団長より新潟市議会51名中、47名が日中友好促進新潟市議会議員連盟に加盟している。今回、丹東市に訪問させていただいた目的は、一つに丹東市の日本企業の実態を見せて頂きたい。二つ目は、観光交流をもっと盛んにしたいと訪問の目的を説明。

さらに丹東市からは、国家園林都市、中国優秀旅行都市、全国双模範都市であり、中国十大養老聖地の一つに選ばれてもいる。沿海部には大鹿島、ノロ島など島もある。四季がはっきりしていて自然にもとても恵まれ、魚介類や果物が多く摂れ、日本からもっと多くの人に来て欲しいとの要望を受けた。

代表団からは、今回の丹東市への訪問が両市の観光交流をスタートさせるきっかけになること。日本国内に20市ある政令市の中で7年前、新潟市に日本海側初の中国領事館ができた。現在3代目領事である孫大剛先生から議連との意見交換会で、生誕地の丹東と仕事をしてきた瀋陽との交流、協力のチャンスをいただいた。私たちもこの機会を活かし両市の交流拡大を図りたい。中国は歴史があり、仏教、文化など中国から伝わった。長い日本と中国の歴史の中で良かった時代や氷河期もあったが、田中角栄が毛沢東との間で良い状況を築いた。新潟市の市民憲章の中に、海の向こうの



国は友の国と謳っている。国と国の間では解決が必要な事もあるが、仲良くやっていないといけない。新潟にも美味しい米や果物が沢山ある。中国にも送り食べて頂きたいので、新潟米の輸入規制撤廃への協力を要請した。

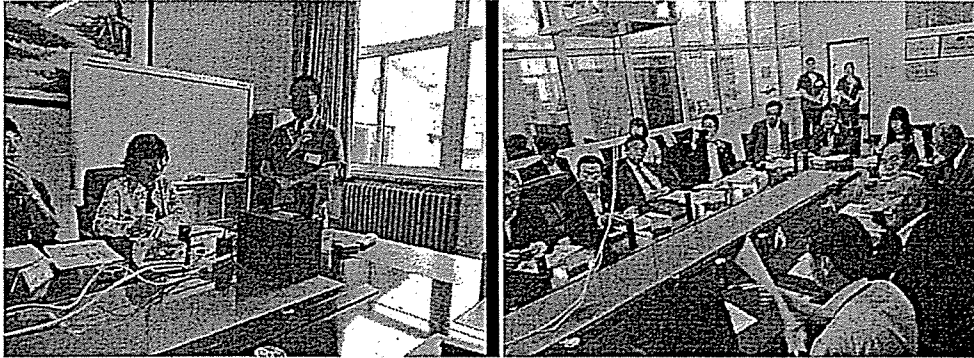
さらに代表団より、孫、子の時代まで良い関係をつくって行きたい。今回の訪問を機に丹東市とも姉妹都市になれることを期待したい。丹東市からの訪問団が来新いただければ熱烈な歓迎をし、今回の訪問の感謝としたいと提案。終始、和やかに意見交換会を行った。

(3) 7月11日(水) 10:00~12:00

面会者 丹東滝田模具製造有限公司・大塚朗 董事営業顧問(丹東日本人会会長) 他

I~IIIのレクチャは総て丹東滝田模具製造有限公司・大塚朗 董事営業顧問が担当。

#### I、丹東について及び丹東市内(断橋)視察



#### ア 丹東について

市内から車で30分ほど走ったところに、万里の長城の東端があり、10年ほど前に発掘、復元された。

同じく53キロのところに、中国の名山の一つ、鳳凰山がある。唐代の皇帝李世民が名付けたとされ、同所には800メートル下を望むことができる、ガラス張りの橋も架かっている。

100キロ離れている黄椅山森林公園は、30万年前に起きた火山噴火でできたカルデラ湖。水はとても透き通りきれいで、冬場はスキー場。夏場は避暑地になっている。

丹東市はまた果物栽培が有名。桃、燕紅桃はとても有名で、日本の桃と同じ柔らかさと甘さを持ち、8月から市場に出回る。苺は「九九草苺」という種類で、1995年に日本から持ち込まれ品種を改良した。さらに中国の天津甘栗は馴染みだが、栗はすべて丹東産。ここで生産出荷され、天津では作っていない。

また丹東は海鮮、特に青柳貝やアサリ、ツブ貝の貝類が豊富。卵がたくさん入って身厚な渡り蟹は、北朝鮮から丹東・東港市にて多く輸入されている。

新幹線が出来て便利になった今では、観光客が苺やカニをいっぱい買っていくため、値段が3年前に比べて20%アップした。

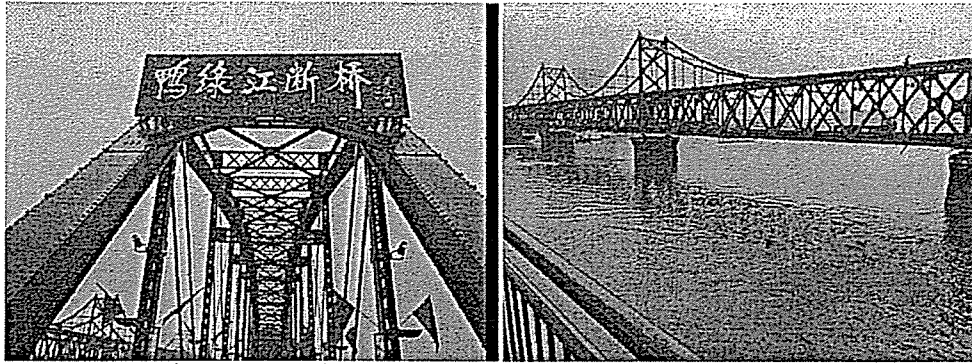
米はコシヒカリ生産が盛んで、値段は5キロで50元(750円)と安い。

交通網では新幹線が整備され、大連まで2時間、瀋陽までは1時間10分で行けるようになった。丹東市の南に3,500mの滑走路を有する丹東浪頭国際空港があり、2014年には新ターミナルがオープンした。空路は北京、上海、成都、深圳、青島、哈爾濱、杭州の各国内線と、韓国ソウル仁川への空路があり、日帰りが可能となっている。韓国経由で日本に帰ることもできる。

高速道路も遼寧省の主要な都市と結ばれている。大連市までは350キロ3時間半。瀋陽市は280キロ2時間半ですが、今では出口が非常に混むため3時間ちょっとかかる。

#### イ 丹東市内(断橋)視察

丹東は観光と北朝鮮貿易で発展してきた街。観光では、一年間を通していろんなお客さんが来る。見どころも多くあり、1日では見られず3、4日はかかる。



新潟市が特に拉致事件の当事地であることから、北朝鮮の現状を少しでも垣間見るため、北朝鮮と中国をつなぐ鴨緑江に架かる断橋を視察した。断橋は鴨緑江に架かる2本の橋で、満州国時代に日本が造ったもの。本来、橋脚が90度回転し、大きな船も通ることができた。しかし朝鮮戦争のとき、このうち1本がアメリカ軍の爆撃で北朝鮮側が破壊された。現在は断橋として、北朝鮮を望む最も近い場所としても有名だ。またもう1本は、現在も北朝鮮（新義州）と丹東を結ぶ橋、交通路として重要な役割を果たしている。丁度、私たちが訪れた時期は、米朝首脳会談後の雪解けムードで、経済制裁が緩和されたのか、ひっきりなしに北朝鮮に向かう大型トラックを何台も目撃した。また橋からは北朝鮮の民家も見え、厳しい暮らしの様子が伺えた。

## II、丹東東田果蔬种植設備有限公司視察（室内専用の水耕栽培設備を販売）

丹東市振興区国禎路14号



丹東東田果蔬种植設備有限公司は丹東滝田が安心安全な無農薬野菜を中国家庭に届けるために、プラントの生産と実験をここでやっている会社。中国の肥料会社と提携し、安全な溶液を与え室内で栽培をしている。レタスは40日。ほうれん草は60日かかる。

LED電気、栄養液を作って与えているので、原価は一般市場で売られているものの2-3倍になる。それでも需要は増え、中国での無農薬野菜のニーズが増えていることが判る。

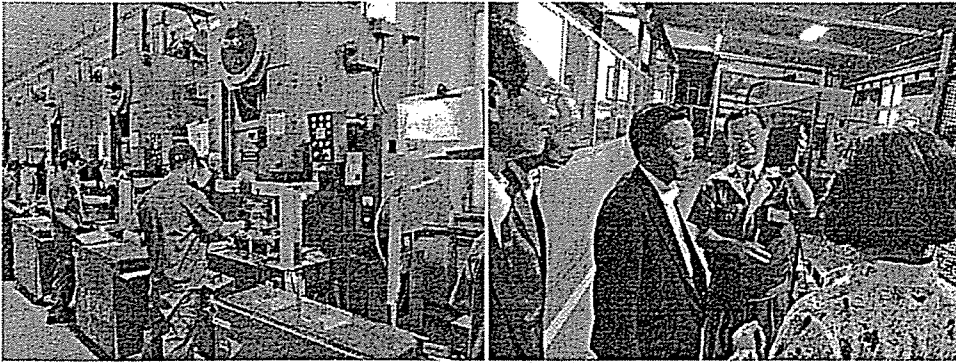
この実験棟の目的は、生産設備を開発製造することがメイン。家庭用、工場用、ビニールハウス用の設備を作っている。今、いろんなお客さんからお話があり需要がある。

実験プラントで出来た野菜は捨てるわけにいかないの、お客さんにアピールしながら売っているのが実態だ。

もともとは日本から持ってきた技術だが、応用しながら中国国内にプラント販売をしている。

日本への輸出は、中国国内の安全基準3Cはとっているが、日本輸出するためには、日本の工業規格JISを取らなければならない、中小企業ではコストがかさみ断念している。

Ⅲ、丹東滝田模具製造有限公司視察（プレス、金型工場） 丹東市振興区桃源街 42 号



丹東滝田の本社は上越市。資本金 1000 万円、従業員は 80 名。

中国には丹東と上海の北、江蘇省大倉の 2 か所。インドネシアにも事業所がある。

海外進出は丹東が一番古く 1995 年に出てきた。

丹東滝田模具製造有限公司は 1995 年に中国企業との合併でスタートした。

2006 年、合併契約期間が終わったので、一端合併を解消して、単独資本に変わった。

2011 年には丹東でも高度経済成長がきた。結果、金型工場の周りが全部住宅街に変わった。

工場でプレスをやっていると振動と騒音がついて回り、周辺住民からクレームをいただいてしまった。時には工場にレンガが投げ込まれ、窓ガラスが割られた。

公安と市政府に相談し、住民と夜間の騒音を 50 デシベル以下に抑えるという、日本より厳しい協定が結ばれた。しかし当初の場所にはおられないということで、現在の国営企業の東方電気の敷地に入れてもらった。その関係で、東方電気より 10% の出資を受け、2011 年より合併企業として再スタートした。

今の取引先は 90% が中国国内になっている。

事業内容は、金型を設計製作する。制作した金型を預かり、使用してプレスし製品だけをお客様に収める仕事をしている。金型の納期は、小さなもので 20 日。大きなもので 45 日位の納期をいただいている。金型の製作能力は月 23 型位ある。

しかし大連や瀋陽でも電器関係の日本企業は撤退か縮小している。大連のキャノンも縮小し、フィリピンにシフトしている。東芝は 3 年前に撤退した。

電機メーカーがいなくなって自動車に仕事が変わってきた。

仕事量の 70% が車関係の部品になっている。売上先は、瀋陽にある奉天三菱。三菱商事、奉天自動車、三菱自動車の出資の合併会社。ここでエンジンを作っているが、部品を作り納めている。

電器関係の仕事は減っているが、自動車関係が増加し、プレスの需要が増えているので、設備投資の拡大も考えている。

従業員は金型とプレス併せて現在 80 名。去年はもう少しいたが、電器から自動車への切り替えで売り上げが落ち、若干従業員を減らした。来年はもう少し仕事が増えると予測されることから、従業員の増員も考えている。

勤労者の賃金や離職率は、非常に低い。丹東に進出する魅力になっている。丹東は大連や瀋陽に比べ非常に田舎。丹東滝田の従業員の離職率は 0.05% 位。ほとんど辞めない。同じ滝田グループの上海近郊の大倉では離職率が 30% もある。中国では南部が離職率が高い。

丹東は遼寧省の中でも最低賃金、給料、離職率が低い。

月の最低賃金は 1420 元（日本円で 24000 円程）。但しこれでは誰も来ない。滝田では平均 5400

元（日本円で92000円程）。中国では賃金に占める保険の割合が大きい。給料の52%になる。労働者の手取りは3000元弱になる。因みに大連は中国主要都市になかで8番目に高く、6100元。北京は7000から7500元となっている。

金型は、日本のお客さんから注文を受け、金型だけを収める仕事もしている。納入先は三菱電機、リンナイ、マキタ等。製作を全部行い、日本に届けて終わりになる。6年前から徐々に増えている。金型の日本向けは全体生産量の17%。一方、一部は中国向けにも金型だけ収めている販売先はあるが、ほとんどがプレスまで行い、製品で納めている。

中国での自動車産業は、昨年、販売台数は2500万台。今後、2020年には3500万台になるともいわれている。しかし中国の法律で電気自動車は2025年には全体の15%にするとしている。自動車全体の販売台数が増えているので、日本が得意とするガソリン車の生産は減らないと三菱自動車は見ている。電気自動車はバッテリーにまだまだ課題を抱えている。バッテリーで走れる走行距離、寿命、コストといった課題をかかえる。特に中国北部は冬場にはマイナス30度になる。マイナス18度を超えるとバッテリーを満杯にしても、いきなりゼロになるなどの課題がまだ多い。後5年位はガソリンが主流と見ている。

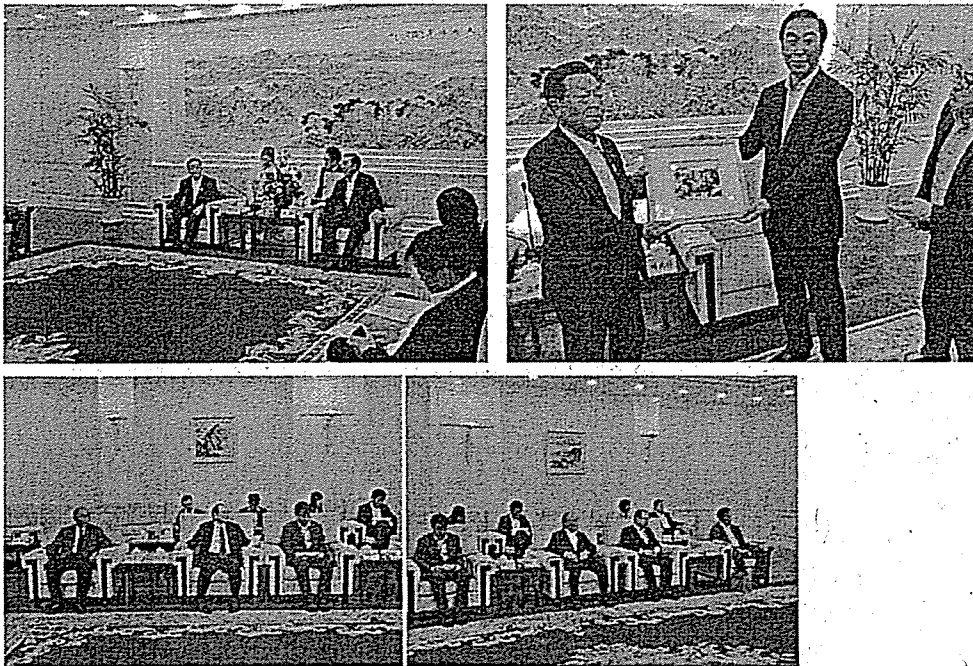
但し急速に自動車普及が進んでいることから、解決しなければならない課題も多い。第一は駐車場問題。道路両側にいっぱい車が駐車される。特に都市部、大連ではやっと車1台しか通れない道も多い。さらに電気自動車の普及を考えると、高層マンションに住む人は、高層の部屋から電源を引くところは難しい。充電場所の確保も含め、各メーカーとも電気自動車は急激にはふえないと見ている。当面はハイブリットがもう少し増えると見ている。100%電気自動車は都市部の市街地だけで、中国に多い山間部ではとても電気自動車は難しい。

当社の事業戦略は電機から自動車に変化した。特に自動車は産業の幅が広い。例えば電気自動車では充電器の需要や、駐車場問題では立体駐車場の需要が増える。

後20年たったらかなり構造は変わる気がする。当然20年後には自動車はほとんど電気自動車に代わっている時代になると見込んで事業を進めている。

(4) 7月11日(水) 18:00~19:00

視察先=遼寧省人民代表大会との意見交換会



(遼寧省側) 楊美林 遼寧省人大副主任  
應中元 遼寧省外事弁公室主任  
許 威 遼寧省人大全国外交委員会副主任  
趙洪斌 遼寧省外事弁公室アジア局局長  
李向榮 遼寧省外事弁公室アジア局研究員  
胡元元 遼寧省外事弁公室アジア局部長  
王佩瑜 遼寧省外事弁公室通訳  
同席 金子格 瀋陽中越商貿有限公司(中越グループ)副總經理  
瀋陽中越商貿有限公司(中越グループ)通訳

代表団より、本市が国から農業特区の指定を受け、農業を基盤とした田園型政令市として発展を続けている。特に3.11東日本大震災と福島原発の事故により、中国では本県農産物の輸入規制が続いている。事故当初より本県農産物の放射能汚染はなく、中国での輸入規制は困惑している。ぜひ撤廃に協力いただきたいこと。新潟と交流の深い遼寧省より観光交流の推進についても要請した。

一方、中医であり大学教授の人大副主任の楊美林氏より、改革開放時代は上海を中心とした長江デルタや、広州を中心とした珠江デルタに外資が導入され経済が躍進すると、その反動で遼寧の国有企業は多額の負債を抱え、時代遅れの存在となった。しかし現在は、大連を中心とした沿海地域に外資が導入され、アジアのシリコンバレーとしてIT関連を中心に、大きく経済が発展した。

GDPは昨今、7%前後をキープしている。

新潟県とは、大連事務所を窓口に交流を進めてきた。これからも新潟市とは交流を深めたいと、前向きに回答をいただいた。

## 5、最後に

今回の視察を通じ中国総領事館総領事孫大剛氏はじめ遼寧省外事弁公室及び瀋陽に進出している中越クリーンサービスの現地法人、瀋陽仲謁商貿有限公司の金子格総経理、通訳の■■■■氏にはたいへんご協力をいただき、視察が有意義なものになったことに感謝します。

視察では、中国の現地でたくましく活躍する新潟企業には感動をしました。同時に、企業の海外進出と産業構造の目まぐるしい変化には、改めて目を見張った。

今回の貴重な経験を通じ、新潟の特に中小企業政策について改めてグローバルな視点で再構成をしなければならないと痛感した。

また中国では丁度、夏休みに入り家族旅行の姿を多く見かけ、観光地は賑わっていました。中国経済の発展と共に、中国の人々の暮らしも大きく向上する中で、観光、余暇の使い方も変化をしていることを実感した。

今、日本ではインバウンド、海外からの観光客の誘致に力を入れています。新潟はいささか遅れをとっている。新規空路の開設でも、一方通行の観光交流の受け入れではなく、中国は我々が想像するより奥深い資源が眠るだけに、相互のWinWinの関係を築くかの視点が大切ではないだろうか。

丹東では米朝首脳会談後の永年の緊張が雪解けムード直後だった。多くのトラックが鴨緑江を渡り北朝鮮に向かう実態を見て、経済制裁を中心とするだけでは、拉致被害者全員の救出につながるのか改めて考えさせられた。

## 中国友好促進議員団研修での所見

新市民クラブ 田 辺 新

「遼寧省で活躍する大和の人たち」

中国大陸に入って2日目には、新潟ともゆかりも深く、【友好協定】を結んでいる遼寧省に入った。

午前中は、瀋陽市内にある三菱商事グループ系が資本を出資している企業「瀋陽華美畜産集団」を視察した。

本社前に到着すると屋上の電光掲示板に「歓迎 新潟市議会一行」と映し出されていたのには団長以下、参加者一同は感激させられた。

本社4Fの会議室に通され、三菱商事出向の生鮮品部畜産担当の[REDACTED]氏から畜産集団の概要説明を受けた。

「畜産集団」の概要説明の中で、集団の敷地面積の膨大なことには脅威を覚えさせられた。

その説明によれば、「養鶏・鶏卵・鶏肉（ブロイラー）の3部門に大別される」とのことであった。

鶏肉部門の中には、「やきとり」用として串に刺して日本に輸出しているものもあると、三菱商事出向の[REDACTED]は説明してくれた。



次いで、瀋陽駅発P m 1 4 : 4 0の新幹線に乗車し、国境の町「丹東市」へと目指した。

「丹東駅」に立ったのはP m 1 6 : 2 0頃でした。

「丹東駅」には、新潟市の児玉・池田の両中国出張所長が出迎えてくれた。

両出張所長も同行して丹東市人民代表大会を訪れた。

その際に丹東市外事会室・副主任をはじめとする市高官から寛大に迎えられた。

丹東市は最も美しい国境の観光都市であるとともに、栗をはじめ苺を生産する農業都市であるとの説明を受けた。

これらを通じて新潟市と丹東市間で友好都市が築かれるよう望むと丹東市外事弁会室の副主任は述べていた。

中国大陸に渡って3日目の午前中には、「丹東滝田模具製造有限公司」を訪れる前に急遽、「鴨緑江」に架かる「断橋」に出掛けた。

「鴨緑江断橋」は、過っては「中朝の友好の橋」であったが、朝鮮戦争時に国連軍によって爆破された鉄道橋こそが中朝友好の橋でした。

そして、多くの物資がここから出入りするなど、中朝貿易や人事交流の

懸け橋であった。

その橋が、爆弾によって断橋となって以来、今では隣に大橋が完成し、中朝間の重要な架け橋となっています。

断橋の先端まで歩いて行くと、北朝鮮の人たちの生活風景も見て取るように窺います。

「高校と大学の後輩であった特定失踪者の【大沢孝司君】は、その地でどんな生活を送っているんだろうかなあ〜」と、想像を展開して見ました。

そして、日朝首脳会談の一日も早い実現により、生還できることを祈るだけでした。

そんなことを祈りながら、最後の視察地となった「滝田模具製造有限公司」を訪問すると、大塚朗・副総経理の自らの出迎えを受けまして、2階の会議室にて会社概要の説明を受けました。

本社を上越市・藤塚に置く（株）滝田が、2006年9月に丹東市に進出し、滝田グループの金型センターとして位置付け金属プレス金型の設計・製造に力を注いだ。

現在では、約20年のキャリアを持ったベテラン設計者を配置し、先進的な設計器具を介して、お客様の要望に応える、金型の設計・制作を行っている。

また、会議室の隣部屋を改装して、「丹東東田果蔬種植設備有限公司」を立ち上げ「水耕栽培の実践」を展開している。

品種は、レタスやセロリ・ホウレンソウなど30種類を育成し、家庭用・業務用・兼用水耕栽培設備を活用して、育成した野菜プランター販売して、各自で栽培してもらう会社です。

これには『あらた』も、言いたいことや、指摘したい点が多々あります。

その後、瀋陽市に戻ると遼寧省人民代表大会を尋ね、党組織副主任を副主任委員らが出迎えかいに来られ、寛大な歓迎を受けた。

以 上

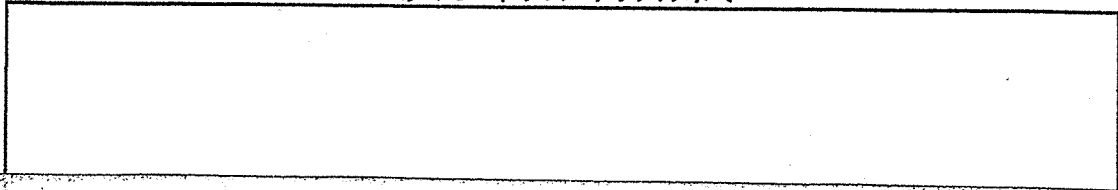
## 支 出 伝 票

会 派 名	新市民クラブ	議 員 名	田 辺 新
支 出 年 度	平成30年度	整理番号 (項目別)	32
支 出 項 目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 調査研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	平成30年11月29日～平成30年11月30日		
支出年月日	平成30年12月25日		
支 出 金 額	<del>¥5,000円</del> ¥3,000円		
支 出 先	新潟市中央区万代1丁目6番1 新潟交通株式会社 旅行販売1課 <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span>		
使 途 内 容	新潟市議会農政議員連盟「農業先進地」視察研修費として		
備 考	領収書 添付		

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

# 領収書添付用紙



## 領 収 書

BNo. 797023

平成 30 年 12 月 25 日

田 辺 新 様

下記金額正に領収致しました

新潟市中央区西堀町 6 番 1 号

新潟交通株式会社

¥ 35,000 -

1/29.10 旅行費 212

発行所

旅行販売一課

取扱者印

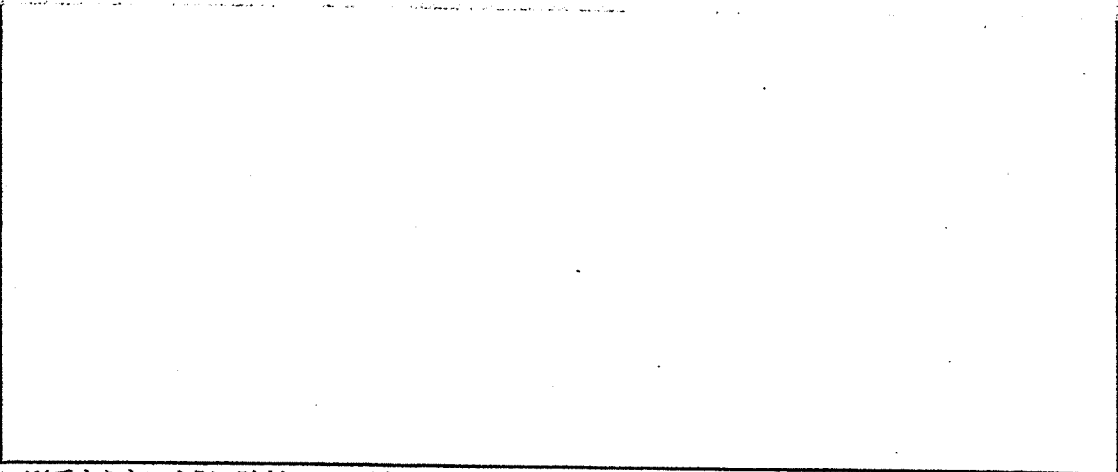


内、消費税

円を含む

取扱者印なきものは無効

経理46. B 6. 複



※重ならないように貼付してください。

# 納品書・請求書添付用紙

No. 23357

## 請求書

DNo. 169624

平成30年11月30日

団 団 新 様

下記の通り御請求申し上げます

新潟市中央区  
新潟交通株式会社

¥ 35000 -

但し 1/29-30 農政課連 視察費用

振込先

発行所

取扱者印

新潟交通株式会社・営業一係

旅行販売一課

誠に恐縮ですが、振込み手数料は貴社にてご負担願います

尚、この度のご入金は 月 日までお願い致します

経 47-B6-規

※重ならないように貼付してください。

NO

平成30年11月16日

**新潟市議会 農政議員連盟 様**

2018年11月29日～30日

富山  
12名様新潟交通株式会社  
旅行部 旅行販売1課  
Tel 025-271-6266  
担当 XXXXXXXXXX**ご旅行費用見積書**

基本費用	単価	数量	金額	摘要
貸切バス	234,000	1	234,000	消費税込
高速代金	22,020	1	22,020	
乗務員宿泊	8,640	1	8,640	
宿泊(1泊朝食)	11,000	12	132,000	富山マンテンホテル
諸税	880	12	10,560	
取扱手数料	1,080	12	12,960	
調整	-15	12	-180	
小 計			420,000	
付帯費用	単価	数量	金額	摘要
小 計			0	
合計金額			420,000	
				1人当たりの旅行費用
合計金額			¥420,000	¥35,000

※このたびはご用命をいただきまことにありがとうございます。  
上記のとおりご見積もりさせていただきます。何卒宜しくお願い致します。

新潟市議会 農政議員連盟 様

11/29(木)～30(金) 砺波・上越園芸施設視察【1泊2日】

観光庁長官登録旅行業第289号

新潟交通株式会社 旅行販売1課

〒950-0892 新潟市東区寺山 3-7-1

TEL ■■■■■ 担当 ■■■■■


期 日	御 旅 程
11/29 (木)	<p>新潟市役所 8:30 — 新潟西 IC = 巻潟東 IC(駐車場) = 米山 SA = 有磯海 SA = 9:00 (10分) (10分)</p> <p>砺波 IC = 砺波(昼食休憩) — JAとなみ野(たまねぎ団地視察) 12:30~13:20 13:30~15:30 富山県砺波市宮沢町 3-11 TEL 0763-32-8600</p> <p>— 砺波 IC = 富山 IC = 富山(泊) 16:10</p> <p>◆富山マントンホテル 富山市本町 2-17 TEL076-439-0100</p>
11/30 (金)	<p>ホテル — 流杉 IC = 蓮台寺 SA = 上越 IC = JAえちご上越(えだまめ団地視察) 8:00 (10分) 10:00 ~ 11:30 上越市藤巻 5 番 30 号 Tel.025-527-2001</p> <p>— 上越(昼食休憩) — 上越 IC = 米山 SA = 巻潟東 IC(駐車場) = 新潟西 IC 12:00~13:00 14:50</p> <p>— 新潟市役所 15:30 頃</p>
宿泊:	富山マントンホテル TEL076-439-0100



## 視察（出張）報告書

平成30年12月4日

新潟市議会議長 様

氏名 田辺新 

下記のとおり、視察（出張）が終了したので報告します。

視察議員	山田洋子, 小野清一郎, 永井武弘, 渡辺仁, 渡辺均, 田辺新, 佐藤正人, 加藤大弥, 南まゆみ, 宇野耕哉, 金子益夫, 串田修平
期間	平成30年11月29日(木)～30日(金)
視察先	富山県砺波市, 上越市
視察用務	新潟市議会農政議員連盟行政視察
視察先面会者	別紙報告書のとおり
概要及び所見	別紙のとおり

## 新潟市議会農政議員連盟 行政視察報告書

【視察日程】平成30年11月29日(木)～30日(金)

【視察議員】山田洋子、小野清一郎、永井武弘、渡辺仁、渡辺均、田辺新、佐藤正人、  
加藤大弥、南まゆみ、宇野耕哉、金子益夫、串田修平

【視察先】富山県砺波市、上越市

【視察目的】本市は水稲中心の農業を行ってきたが、米余りの現状において、農家の収入確保や安定的な経営のためには、水稲に偏らない園芸作物への転換を進める必要がある。本市でも今年から高収益園芸への支援の取り組みを始めたが、経費負担などへの不安から転換に踏み出せない現状があるため、早くからJAを中心に園芸作物への転換を積極的に行ってきた先進地を訪れ、取り組みを始めた経緯や現状などを視察し、本市の園芸作物への転換促進に向けた参考とする。

### 1 富山県砺波市(となみ野農業協同組合)

【視察日時】平成30年11月29日(木)13:30～15:30

【面会者】となみ野農業協同組合 専務理事 小橋 昭夫 様  
経済部特産振興課長 XXXXXXXXXX 様

【調査事項】農家所得の向上に向けた複合経営の取り組み(たまねぎ生産の取り組み)について

#### (1) となみ野農業協同組合の概要

となみ野農業協同組合の管内は富山県西部の砺波市(旧砺波市、旧庄川町)、南砺市(旧福野町、旧井波町、旧利賀村)からなり、総面積は362㎏である。

第7次中期3カ年計画(平成28年～30年度)では、「農業者の所得増大と地域農業の活性化」、「顧客満足度に重点を置いた、まごころサービスの提供」、「自己改革による魅力ある事業展開と経営体制の強化」を基本方針に掲げ、売れる高品質な米・種子・園芸作物等を組み合わせた「となみ野型複合経営」により、所得向上・生産拡大を目指している。

平成29年時点の会員数は、正准組合員合わせて13,812人である。(うち、正会員9,517人、准会員4,295人)

#### (2) 取り組みの背景

当地は水稲生産に特化していた農業構造になっていたため、米価の低迷や国による生産調整廃止を前に農家所得低下を危惧し、主穀作経営体の所得向上や経営体質の強化を行うため、園芸作物などを導入し、農家に対し経営の複合化を推進した。その中で組合長のトップダウンにより、水稲作業と競合しないことや、機械化一貫体系が可能なこと、他の県産の端境期の出荷となること、県内に産地がなく自給率が高いこと、古くからチューリップ球根栽培が盛んでノウハウが活用できることなどを理由に、たまねぎを戦略作物として選んだ。

### (3) 取り組みの概要

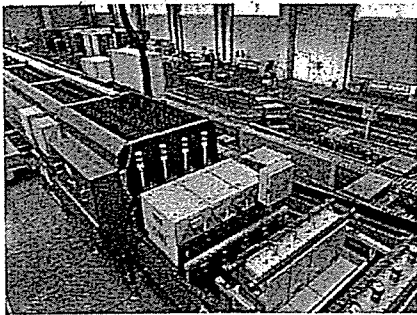
平成20年より始めたたまねぎの栽培は、当初作付面積が8ha。経営体数は24戸で、生産量は119tと、10a当たりの単収は1.5tで販売金額は1,289万9千円であったとのこと。水稲作業と競合しないことを利用し、播種作業では育苗過程においてハウスを利用し、JAの関わりにおいて、機械化一貫体系の取り組みとして、畝立て、定植、収穫作業の機械を生産者に貸し出し、生産者の初期投資軽減を図ることや、乾燥、調整、選別施設、冷蔵保管施設をJAで整備し、収穫後の作業省力化を図ってきた。

しかし一方で、先進地を参考にした省力機械や栽培技術が、砺波地域の大区画水田転換畑や、積雪地域において通用せず、砺波地域の環境に適した機械化体系による栽培技術確立が必要になったことや、圃場の排水改良、発芽不良による苗の欠株、雪解け後の株消失などの問題が生じた。

以上の問題を受け、たまねぎの産地化に向けて、「たまねぎプロジェクトチーム」を設立し、先進地からアドバイスを受けること、技術の改善と検証、対応の繰り返しによる技術確立や、排水不良に対しては、水はけのよい圃場を選定することや、排水対策の徹底に、砺波の圃場に合った機械の改良を行うなどして雪国の特徴を生かした栽培方法を確立してきた。

こうした改善により、10年経過した平成30年産の作付面積は192haの経営体数は131戸で、生産量は7,000tと10a当たりの単収は4.0t、販売金額は4億5千万円と増え、秀品率も80%と格段に向上し、目標単収が読めなかったものが、現在は5.0tと目標を持てるようになった。

今後の課題としては、①気象の変動に対応できる栽培技術の確立により更なる単収、秀品率の向上による農家所得の確保、②作付面積の拡大によるコストの削減、③複合経営確立へ向けた従事者の確保、④施設、機械費支援及び流通コストの削減、⑤販路の確保などが挙げられている。



## 2 上越市（えちご上越農業協同組合）

【視察日時】平成30年11月30日（金）10:00～11:30

【面会者】えちご上越農業協同組合 園芸畜産課長 [REDACTED] 様

【調査事項】えだまめ栽培への取り組みについて

### （1）えちご上越農業協同組合の概要

えちご上越農業協同組合は、平成13年に7つのJAが合併し発足した広域JAである。管内は上越市、妙高市からなり、総面積は1,419㎥である。

第5次中期3カ年計画（平成28年度～30年度）基本目標を『農地を守り・育て地域とともに未来を築こう』とし、組織・事業運営の改革を進め、組合員そして地域住民の期待と信頼に応えられるJAを目指している。

正会員と准会員を合わせた総会員数の減少は少ないものの、平成19年から10年の経過で見ると、正会員と准会員の組合員数が逆転している。直近のJAの概要によると、平成30年2月末現在の組合員数は正准組合員合わせて40,468人であり、内訳は正組合員が17,744人、准会員が22,724人である。JA職員数は一般・営農生活指導員合わせて1,187人であり、うち営農生活指導員は75人である。

（参考）組合員の推移 (人)

	平成13年	平成19年	平成29年
正組合員	24,593	23,023	18,141
准会員	16,668	18,775	23,023
合計	41,261	41,798	41,164

### （2）取り組みの概要

#### ア えだまめの共選体制の整備

当地は大豆の生産が盛んな地域であったが、取り組みのきっかけは、えだまめ栽培が日本海側に適していることと、機械化しやすいことであった。生産量を増やすには栽培面積の拡大と機械化への転換が必要だが、個々の農家で機械を導入することは困難であった。

しかし、JAが集荷量を増やしたいとの目的があり、平成16年に共通機械として使用する選別レーン2箇所分一式を導入、整備し、えだまめの選別事業を開始した。農家には10a当たり1万6千円でレンタルし、AM・PMと分け別々の農家を使用した。収穫時期が重なり機械の洗浄が間に合わず故障した場合には、JAが負担し修理してきた。

#### イ 園芸畜産課の新設

##### （ア）園芸拠点集出荷場（園芸畜産課）の設立

平成23年3月に園芸拠点集荷施設を新設し、各農家がJAよりコンテナを1回10円で借り、えだまめを収穫し、選果場へ持ち込み、その後は全てJAが行う方式にした。

#### (イ) 機械導入とえだまめ栽培面積の拡大

収穫後の選別・調整作業の集中化と面積拡大に取り組む。平成 23 年頃から、特に若い人たちによる稲作からの転向が徐々に広がり、平成 28 年には色彩選別機（全国で 2 台目）も導入。平成 27 年までは手で除いていた虫食い等の除去が可能となり、品質が向上した。作業員は最大 1 日 25 名、販売総量 66t、利用面積 26.3ha となる。

平成 29 年には新たに計量・包装機を導入し、作業員は最大 1 日 60 名、利用面積 36.5 ha、販売総量 91.5t を目標に取り組んだ。また、袋詰め用のピロ袋には、あるるん村村長であり、JA えちご上越のマスコットキャラクター「えこもりん」を印刷し PR に活用した。

今年、平成 30 年度には 5 レーン化し、更に自動の洗浄・脱水機を導入。作業員は最大 1 日 60 名を維持し、農福連携により障がいのある方も参加し 1 レーンを担当している。利用面積は 54.5ha、販売総量 143t を目標としている。栽培面積は平成 23 年の 6 倍にも拡大した。

栽培面積の拡大により、農家からは収穫時のえだまめを刈り取る大型コンバインも JA が購入しレンタルをとの要望があったが、メンテナンスや故障時の対応を考慮し、農家より購入してもらうことにした。今年は 1 台の購入で、現在は管内で 3 台ある。

（県単の補助金制度を活用し、自己負担は 650 万円で購入。管内の作業も受託で活用している）導入した機械一式は大規模園芸機械化導入支援事業を活用した。

#### ウ 稲作中心の地域に園芸を推進するための行動指針の作成

平成 25 年度 第 1 次 エッサプランの作成

※エッサプランとは、エッサホイサと皆で頑張ろうという意味

平成 28 年度 第 2 次 エッサプランの作成

#### (ア) 販売の仕組み強化

マーケティング（販売情報調査）に基づき相対取引を強化し、販売チャンネルの多様化を目指す。園芸選任販売担当者を配置し、マーケットインによる販売営業を強化する。

#### (イ) もの作り

有利販売の実現（手取り確保）を進め、「手取り確保ができる園芸品目」を推進し、ロットと高品質を確保する。

#### (ウ) ひと作り

「やる気を持って取り組む農家の育成と新たな担い手育成、多様なニーズに対応できる営農指導強化」に取り組む。



## 農政議連の先進地行政視察での所見

新市民クラブ 田 辺 新

### とやまの【玉ねぎ】団地

11月27日に『新潟市高収益園芸農業支援プロジェクト（代表：新潟市農協組合長・坂井一郎）』が、新潟県知事・花角英世に対して「意見書」の提出するため、農政議連会長の立場で同行した。

その「提言書」は、「新潟県に於ける高収益園芸農業の振興」に対する内容でありまして、新潟県の農業生産額は2005年～2015年までの10ヶ年間で656億円減少しているとされている。

これは、如何に新潟県農業が稲作生産に依存して来たかを物語るものであり、他県では多角的な農業に転換して振興してきたことの差にあると考えられる。

そんな中で、国のコメ政策が転換した今、県・市町村・農協をはじめとする農業団体と、それに農業者自身がこの危機感を自らのものとし、コメから園芸へと意識転換を図ることで飛躍するチャンスになる。

そのために新潟市内の農業協同組合や農業委員会や土地改良区が主体と成った「新潟市農業活性化プロジェクトチーム」は、高収益園芸農業の振興に向けて新潟県に提言した。

その内容は、①「知事が先頭に立って園芸振興を宣言し、トップセールスの実施や生産者・農業団体・行政が一体となった園芸作物の生産拡大・販路拡大の体制づくりを進めていただきたい。」

②「大規模園芸産地の育成に向け、県単事業で施設・機械導入のための支援制度を創設していただきたい。

③水田を汎用化するための圃場整備を促進し、園芸産地形成の実現に必要な土地基盤整備への支援。

以上の3点を提言した。

そこで、新潟市議会の「農政議員連盟」では、【園芸産地】の先進地産地で行政視察を実施し研修した。

初日の11月29日は、富山県南砺市・JAとなみ野の「玉ねぎ団地」で学ばせてもらった。

となみ野農協本店で小橋・専務理事と■■■■特産振興課長の案内で、特別室に案内され専務さんから「歓迎の挨拶」を受け、■■■■課長より「農家所得の向上に向けた複合経営の取組み」と題した資料に基づき説明があった。

それによれば、「玉ねぎを戦略作物として選定した理由」は、

- ①「水稲作業と競合しない」
- ②「機械化一貫体系が可能とされる」



③「他県産の端境期の出荷となる」

④「県内に産地が少なく自給率が低い」

⑤「古くから水作の後作にチューリップ栽培のノウハウを活用」

の5点を挙げられた。

それに加えて「雪国の特徴を活かした栽培が可能」と判断し、導入を決断したとの説明でした。

そこで、「玉ねぎプロジェクトチーム」を設立して、これの振興を図った結果、平成21年度8haの栽培面積が平成30年度には192haまでに伸びたとのことです。

そこで現在、定植を終えた圃場を見学させてもらい、機械化一貫作業体系の各種アタッチメントを拝見させてもらい、JAとなみ野農協の日量150トン処理の「玉ねぎ集出荷指令施設」を見学しながらの■■■■課長の説明を受けた。

『あらた』が一見する中で、新潟市内の稲作単作農家において二毛作体系に導入する価値があると判断した。

以 上

## えちご上越の【えだまめ】団地

行政視察の2日目は、「JAえちご上越」を訪問しました。

「JAえちご上越」の本店で問い合わせたら、所管する営農部・園芸畜産課の事務所は本店より200mくらい離れた別館とのことでした。

事務所には、石山常務と園芸畜産課長が待っていて、最初に石山常務さんから「JAえちご上越管内の状況概要」が説明され、園芸畜産課長から「管内のえだまめ栽培の概況について」の説明があった。

平成30年度の「えだまめ」の栽培面積は54,5haとのことで、平成18年度に農産物直売所である「旬采交流館・あるるん畑」が設置されるや農家の野菜に対する考え方に大きな変化が生まれてきた。

「直売所に野菜を持って行くと、換金される」とのことから、水稻単作から「野菜作り」へとシフトしていく傾向にあるとの説明がなされた。

そこで、今後の課題としては「収穫後の選別・調整作業の集中化と面積拡大」と「収穫期でのコンバイン導入」を検討したいとの説明がなされた。

今後期待するところがあるようでして、はっきり申し上げると、新潟市内では「黒埼茶まめ」を抱えていて名声をはくしている大産地があるだけに、JAえちご上越農協での「枝まめ」産地は現地踏査させてもまして、この2～3年が「産地形成」が勝負の年になろうかと思われまます。

従いまして、3年後かに再度、視察研修をしてみたいものです。

以 上

## 支 出 伝 票

会 派 名	新市民クラブ	議 員 名	田 辺 新
支 出 年 度	平成30年度	整理番号 (項目別)	キ 3
支 出 項 目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 調査研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	平成30年4月1日～平成31年3月31日		
支出年月日	平成31年03月31日		
支 出 金 額	5,657円		
支 出 先	新潟市議会市政調査会会長 永井武弘		
使 途 内 容	新潟市議会市政調査会会費として		
備 考	研修会開催経費		

### 領 収 書

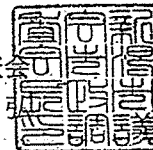
新市民クラブ 田辺 新 様

金 5,657円也

ただし、平成30年度新潟市議会市政調査会会費として、  
上記金額を領収いたしました。

平成31年3月31日

新潟市議会市政調査会  
会長 永井武弘



※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

支出伝票一覧表

会派名	新市民クラブ		議員名	田辺 新	
支出年度	平成30年度	支出項目	広報費	No. 1	
整理番号	支出年月日	支出内容		支出金額	備考
1	30.08.09.	議会報告第48号		259,200円	
2	30.11.05.	議会報告第49号		194,832円	
3	31.01.24	議会報告第50号		194,832円	
合 計				648,864円	

※支出項目ごとに支出年月日順にまとめ、表紙として提出してください



領収書添付用紙

請求書

新江 様

平成 20 年 7 月 22 日

毎度御引立有難うございます。下記の通り請求申し上げます。

総合印刷  
 株式会社 卷 印 刷  
 代表取締役 小林 甲子朗  
 新潟市西蒲区巻甲4515番地2  
 TEL(0256)72-2519 FAX(0256)72-7848

品名	数量	単価	金額
議案報告	16,450枚		242,000
9/24日修正			
	消費税		17,200
合計			259,200

取引銀行

※重ならないように貼付してください。

# 田辺あられた議会報告

第48号 平成30年7月20日

編集・発行

新潟市議会議員 田辺あられた  
〒953-0054 新潟市西蒲区漆山2788番地  
TEL・FAX (0256) 73-2266



## どうなることやら「市長選」?

～はじめに～

『6月定例会』の終了時点で、10月28日投票の「新潟市長選」に立候補を予定しているのは、前参院議員の中原八一氏と前市議の吉田隆志氏、前北区長の飯野晋氏、それに市議の小柳聡氏の4人が活発な活動を展開している。

但し、現職の篠田昭氏は態度を明らかにしていない。

投票日まで残すところ4ヶ月となったが、自民党系候補の1本化と、先の参院選や県知事選で見られた野党系候補への1本化が図られるか、そして、現職の動向が注目される。

そんな市長選の動きがある中で、新潟市議会の『6月定例会』は6月13日に招集され、会期を7月3日までの21日間と決定し、審議に入った。

「6月補正」の目玉は、来年5月に開催予定の『G20農林大臣会合』の成功に向けた、官民一体の協議会運営や開催支援や広報に係る経費の負担金18,000千円の補正であります。

その他、今定例会に上程された21件の議案は、それぞれ4つの「常任委員会」に付託し審査された。

最終日の「本会議」で【採決】の結果、歳入歳出にそれぞれ13億8千207万円を追加し、総額3千819億6千515万とする議案第46号「平成30年度新潟市一般会計補正予算」をはじめとする21件の議案は「可決すべきもの」と決し幕を閉じた。

そこで、『6月定例会』において激論を交わした【一般質問】と、『あられた』が所属する【環境建設常任委員会】の内容を紹介しながら『あられた』の考え方を整理した。

その中で、「不明な点」や「疑問な点」などがありましたら、ご一報頂ければ幸いです。

ごらんください。

田辺あられたの日記

検索

「田辺あられたの日記」では、その日、その日の「あられたの行動



## 本 会 議

### 篠田市長残る4ヶ月 全力投球？

今定例会での【一般質問】には17人が登壇したが、その中で『あらた』のメモ帳に太字で書き込まれている2人の議員の質問内容を紹介したい。

1人は農政議連の幹事長として、「県知事選を終え、篠田市長の所感と市政との連携」と題して、3点に的を絞って市長の考えを問い質した。

1点目は、「新知事の【公約】と、市の【にいがた未来ビジョン】との連携について」尋ねると市長は、「新知事の【公約】には、【にいがた未来ビジョン】で取り組んで来た、人口減少への対応や拠点性の向上などの方向性と合致するものと考えており、県と市が連携し役割分担を明確にしなが、取り組みをさらに前進させていきたい！」との考えを述べた。

2点目は、「市長の残任期間で新知事と取り組みたい新たな施策」を問うたのに対して市長は、「本県の拠点性が低下したとの認識の下で、前知事とは危機感を共有し、新潟駅周辺整備や万代橋の活性化などを、県と市が連携し、同じ方向に向かって動き始めたところだった。こうした県と市の共通な課題は、新知事との間でも認識を共有することができると感じており、首長の任期に関わらず、着実に前進させるべきものと考えて。今後、【新潟県・新潟市調整会議】で拠点性の向上に向けた議論をはじめ、人口減少対策などの諸課題について、様々な場で意見交換を行いながら、スピード感を持って取り組んでいく」との答弁がなされた。

3点目は、「新たな新潟発展のため、後進に道を譲る気はあるか？」と、問い質したのに対して市長は、「今後、新知事とともに、新潟の拠点性向上に向けた県との意見交換を一刻も早く再開させることが必要であるほか、新潟市の行財政改革の前倒しなど重要課題が山積していることから、まずは私の任期一杯、諸課題への対応に全力で取り組んでいきたい」との答弁に止めた。

その答弁内容を伺い『あらた』は、「新潟県の拠点性強化は、新潟市の拠点性向上にあると考えられ、【新潟県と市との調整会議】を早急に再開し、円滑なる運営体制を構築するとともに、当面新潟が抱える行財政改革をはじめ諸問題に取り組む候補者の考えを良く聞いた後、適当な候補者がいない場合は自らの再登板も再考されるのではないかと受け止めた。

### 佐渡ヶ島との【広域観光】の推進を！

いま一人は、我が会派「新市民クラブ」で将来を囑望されている若手議員であります。

若鷹は、「佐渡市との観光連携について」の市長の考え方を問うた。

これに対して市長は、「新潟市と佐渡市との連携は、【ドキめき佐渡・にいがた観光圏事業】や、国内外における共同での誘客セールスなど【観光面の連携】などのほか、佐渡金銀

山の世界遺産登録に向けて講演会の開催やら、新潟開港150周年記念事業など様々な事業を一体となって取り組みを展開している。

その結果、台湾の旅行会社による【佐渡】と【新潟】を含むツアーの企画、実績などの成果もでてきているが、両地域の知名度アップを図り、地域経済の活性化に繋がる施策をさらに推進していく必要があると考える。

この夏には、国の文化審議会世界文化遺産部会において【世界遺産推薦候補の選定】が予定されていますが、新潟市への観光客の増加も見込まれる佐渡金銀山の世界遺産登録に向けて、6月12日も自民党幹事長と意見交換を行うなど、これまでにないレベルの連携を佐渡市などと展開し、最大限に盛り上げていきたいと考えている。

このことは、新潟市の【交流人口拡大】を図るには佐渡市との連携は大変重要であると認識しており、今後も引き続き綿密な連携を図っていきます」との答弁があった。

この答弁を聴きながら『あらた』は、【トキめき佐渡・にいがた観光圏整備計画】の中で謳っている「滞在促進地区」として新潟市の【中心街】と並んで【岩室温泉】が挙げられる。

そこで、「佐渡島内に1泊して新潟港経由で新潟市内の観光巡りを楽しんだ後、新潟の【中心街】や西蒲区の【岩室温泉】でもう1泊してもらおう!」というツアーの企画に組んでもらってはどうかというのが『あらた』の考えであります。

その具現化を図るために、旅行代理店等を交えて佐渡観光協会と岩室温泉組合との「意見交換会」を開催するように新潟市の担当部長に『あらた』から依頼している。

## 環境建設常任委員会

### 戸頭～巻浄水場系相互連絡管整備の促進を!

前号でも触れたが、『6月定例会』の【環境建設常任委員会】においても「平成30年度事業概要説明」の中で水道局・経営企画部長は、水道事業中期実施計画（平成30～36年度）の中で「南区・戸頭浄水場系～巻浄水場系相互連絡管整備事業」により延長2.2kmの区間の連節を完了すると説明した。

この事業の緊急性は、ご承知のように今冬の【激寒】の影響により我が西蒲区の【1万有余】もの世帯が【断水】するという最悪の有事が発生した。

「安全・安心な西蒲区」を目指している中での事態として『あらた』は、この有事を重く受け止めて【環境建設常任委員会】の場で、経営企画部長に対して「二度と繰り返すことのないように嚴重注意」を促しておいた。

加えて、各浄水場系の相互連絡管整備の緊急性は高いものと考えられ、特に「戸頭浄水場系～巻浄水場系相互連絡管の整備」は早急に完了するよう強く訴えておいた。

本用紙の色は、西蒲区のカラー“ハーベスト・イエロー”を

そんなこともあって、【環境建設常任委員会】が終了すると水道局の技術部・管路課長と中央事業所管路係長から面談が求められ、本年度以降の2,180mの「戸頭～巻間の相互連絡管」の整備計画の詳細にわたって説明を受けた。

管路課長の説明によれば、平成30年度事業としては「馬堀地内の500m」と「漆山地内の510m」を合わせた「1,010m」に、渦東地区「国見地内の220m」の区間で工事着工する予定になっているとのこと。

この工事を完了することにより「戸頭・巻間の相互連絡管」の工事は、難工事が予想される2級河川「大通川」と、北陸自動車道と国道460号線との交差点の工事を残すだけとなります。

従って、平成31年度事業としては馬堀地内と漆山地内を結ぶ大通川にかかる「大通橋」に隣接する箇所に【水管橋】の新設工事と、北陸自動車道と交差する国道460号線の片側交通による連絡管の埋設工事に着工する計画に成っているとのこと。

この工事により「戸頭浄水場系～巻浄水場系」が連節されることに成ります。

その後、連絡管内部の洗浄期間を考慮すると、平成32年度前半の本稼働を考えているとの管路課長の説明でした。

それに付け加えて、赤鎔地内の一部と河井地内では圃場整備事業の計画が検討されていることから、西蒲区・建設課での話しでは国道460号線の法線が不特定な段階であるとのこと。

従って、計画期間を平成30～36年度と定めたとの説明だった。

これらの説明を管路課長から受ける中で『あらた』は、機会ある毎に訴え続けてきた「予算の前倒しも考慮に入れ、【戸頭浄水場系と巻浄水場系相互連絡管整備事業】の一日も早い完了を促進せよ!」との願いをしておいた。

## おわりに

- ・新潟市長選の投票日まで余すところ4ヶ月と成った『6月定例会』。
- ・現職の去就問題が「一般質問」の中で、多くの議員が取り上げた。
- ・ところが、市長からは去就に対する明言は回避された。
- ・現在、表明しているのは元国交省・政務官と、前市議の2名だ。
- ・だが、前北区長と現市議は立候補に意欲的だが、未だ表明はない。
- ・どうなることやら、新潟市長選？
- ・佳境に入る市長選を控える『9月定例会』 大型台風襲来？ (あらた)



いています。

本紙は政務活動費を活用しております。

## 支 出 伝 票

会 派 名	新市民クラブ	議 員 名	田 辺 新
支 出 年 度	平成30年度	整理番号 (項目別)	2
支 出 項 目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 調査研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input checked="" type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	平成31年10月28日		
支出年月日	平成31年11月05日		
支 出 金 額	194,832円		
支 出 先	新潟市西蒲区漆山8680-1 北洋印刷株式会社 代表取締役 石田三夫		
使 途 内 容	『田辺あらた議会報告第49号』印刷代並びに新聞折込み料として		
備 考	発行部数 16,400部 (うち新聞折込み部数16,400部) 新聞折込み実施日10月28日		
領収書 添付			

領 収 書
第 号

田 辺 あ ら た 様

¥ 194,832円

但し議会報告 第49号代  
上記金額正に領収いたしました。

平成30年11月5日

取扱者印



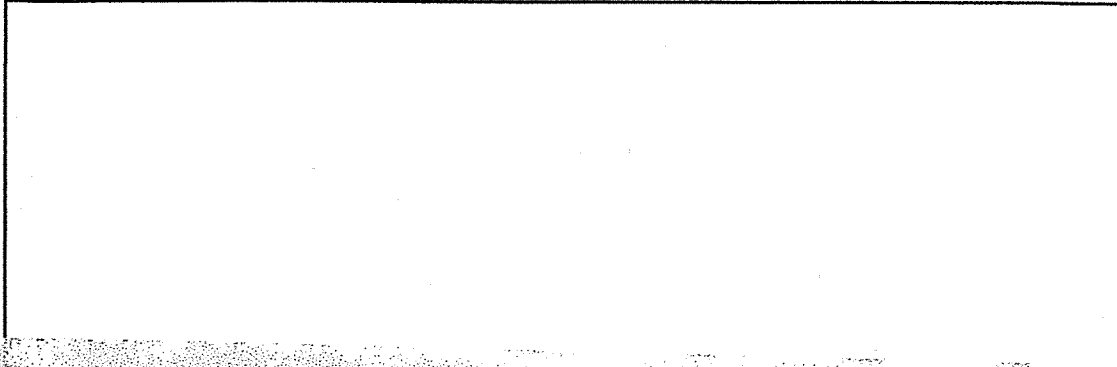
北洋印刷株式会社

代表取締役 石田 三夫

新潟県新潟市西蒲区漆山8680番地1 漆山企業団地  
TEL (0256) 72-2345(代) FAX (0256) 72-6606

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。  
備考欄には按分率等を記入してください。

納品書・請求書添付用紙



請 求 書

平成30年10月23日



北洋印刷株式会社

〒420-0801 静岡県新羽市西瀬区漆山8-1  
 (漆山企業団地)  
 電話 (0256) 72-2345番内  
 FAX (0256) 72-6606番

田辺 あらた 殿

下記の通り請求致します

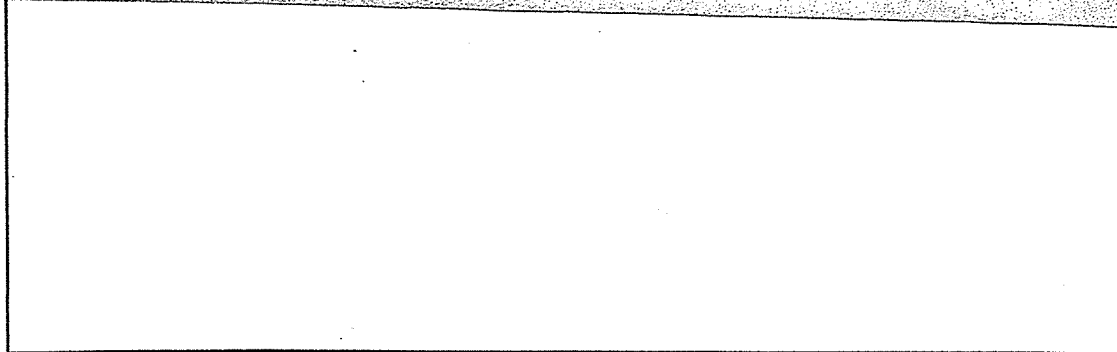
税込合計  
請求額 ¥ 194,832 円

納品月日	品 名	サイズ	数 量	単 位	単 価	金 額
10/23	議会報告 第49号		16,400	枚	11	180,400

取引銀行



消費税8% 19,432



※重ならないように貼付してください。

# 田辺あられた議会報告

第49号 平成30年10月28日

編集・発行

新潟市議会議員 田辺あられた  
〒953-0054 新潟市西蒲区漆山2788番地  
TEL・FAX (0256) 73-2266



## 市長選控えた『9月定例会』終え!!



～はじめに～

新潟市議会の『9月定例会』は、9月4日に招集され、会期を9月26日までの26日間に決した。

次いで、篠田市長に上程した議案の「提案理由」の説明を求めた。

説明の中で市長は、一般会計補正予算の主なる内容として通学路などの「安全対策費」を計上した。

これは、5月に西区で発生した女子児童殺人遺棄事件を二度と繰返さぬよう、地域の「安心・安全」に向けた子どもの【見回り活動支援】や【防犯カメラ設置】などの「地域活動補助金」を創設した。

また、市議会の「災害対策議員連盟」が要求していた大阪市内の小学校で発生した事故を教訓に、篠田市長は9月補正に通学道路沿いの危険な【ブロック塀】の「撤去補助金」を計上した。

その他、議案20件は「各常任委員会」に付託された。

そこで、【本会議】での一般質問や【環境建設常任委員会】での質疑内容と【大都市行財政制度調査特別委員会】での説明内容を紹介し、『あられた』の【所見】を交えて『議会報告第49号』として発行した。

その中で、【不明な点】や【お気付き点】がありましたらご一報頂ければ幸いです。

ごらんください。

田辺あられたの日記

検索

「田辺あられたの日記」では、その日、その日の「あられたの行動」を

## 本会議では

市長選を控えた『9月定例会』の「一般質問」に登壇した議員は21人でした。

その中で、今期で退任を表明された篠田市長に対して「4期16年の市政運営の評価について」の質疑を戦わされた議員が多数おられました。

### 篠田市政は「市民協働」の礎を構築！

トップバッターとして登壇した我が会派の若手議員は、篠田市長に対して「新潟市の強みを生かした市政運営の中で【市民協働】の礎を築き上げたが、これこそが【人口減少対策】や【超高齢社会】への対応策の要だと考えるがどうか」と質した。

これに対して市長は、「政令指定都市移行を契機に、【地域と共に育つ】分権型政令市へ向け市内全域に【99】の地域コミ協を立ち上げ、【協働の要】としての「区自治協議会」を設置するなど【地域力】や【市民力】を発揮していただく環境づくりに努めてきた」との答弁があった。

これについては『あらた』も高く評価するところであるが、「区自治協議会」の運営が【行政主導型】に陥る傾向にあるやに感じられることから、「新潟市自治基本条例」に基づき【区づくり】に自発的な理論が展開する場と成ることを望む。

### 『地域の茶の間』開設！！

これに対して若手のホープ議員は、【市民協働】を深化するための今後の【期待】と【課題】について問うた。

これに対して市長は、「【日本一安心な政令市】構築のためには、区役所は地域コミ協と連携しながら【協働】による市政運営を図ることが重要と考える。

中でも、人口減少や超高齢社会の進行に対処するため、地域カルテを地域と共有することで、地域で取り組めるものを地域主導で推進してもらうことや、医療・介護の連携を地域とともに進める【地域包括ケアシステム】の構築についても地域自ら取り組んで頂けるものと期待している」との答弁があった。

この答弁を聴いて『あらた』は、独居家庭が増加する中で、近所付き合いが希薄に為りつつある現代で、【地域の助け合い】が重要視されることから各地で寄合の場としての【地域の茶の間】を開設したことは高く評価する。

そこで、この事業を将来的にも持続可能な展開を図ることが重要課題であると『あらた』は考える。

## 【環境建設常任委員会】では

### 『日本一安全な政令市』を目指せ！

先の6月18日に発生した大阪府北部を震源とする地震で、ブロック塀が倒壊し児童の尊い命が犠牲と成った。

これを受けて「災害対策議員連盟（会長：田辺新）」では、「市長交渉」を申し入れ「6月定例会」の最終日に実現しました。

その結果、この度の「9月補正予算」に、災害予防対策の充実として「公共建築物保全適性化推進事業費」として1千5百万円が計上された。

この「市長交渉」の内容が翌日の新聞に掲載され、その時点では【実施時期】も【補助金額】は不透明ではありましたが、自治会長さん等から照会の電話が数本ありました。

そんな中で、角田浜自治会長さんは区役所の建設課に訪ねたところ、市役所の建築行政課に問い合わせして下さいとのことだった。

その反動が『あらた』に跳ね返って来まして、「お前が言っている【大きな区役所】は何処へ飛んだ！」と叱られる始末でした。

角田浜自治会長が言われることは、「小学児童の夏休みが始まると毎朝【ラジオ体操】に通う道筋に、今でも倒れそうな以前の町立保育園の【ブロック塀】がありまして、夏休みに入る前に取り崩した！」とのこのでした。

そこで、【環境建設常任委員会】での建築部長の統括説明が終わると『あらた』は、「危険ブロック塀等撤去工事補助制度」の施行日が10月15日からと成っているが、事業の前倒しを認めてもらえないか」と問いました。

それに対して、部長の答弁内容は当然のように【制度上の答弁内容】で終始したが、現地の事情を鑑みて検討してもらおうようお願いしておいた。

## 【大都市行財政制度特別委員会】では

### スタートした『区の再編や総合区の導入』問題？

『9月定例会』での【大都市行財政制度特別委員会】では、『あらた』が疑心暗鬼に受けていたことが、具現化されそうにローギアで動き出した。

地域・魅力創造部の内部内に設けられた【研究チーム】の課題であった「区のあり方委員会の答申を受けた内容」と、「総合区の導入に関する内容」を研究した【中間報告】が

本用紙の色は、西蒲区のカラー“ハーベスト・イエロー”を



担当課長から説明された。

新潟市が抱える「現状・課題」は、①「指定都市中、1区当たりの人口が最も少ない」、②「2040年には1区当たりの人口が約9万人に減少見込み」、③「住民票のコンビニ交付などの行政サービスの提供主体の多様化」、④「新潟駅・航空・港湾という拠点機能が複数の区に分散」などを指摘した。

この結果からして、「市政運営にあつての【行財政改革】の必要性は十分理解するが、合併市町村では住民を対象にした【合併説明会】で、新潟市が目指す都市像を【日本海型】であり【田園型】と【分権型】の新しい【にいがた】を構築すると訴えて理解を求めた経緯があります。

### 「大きな区役所」の具現化を目指せ！

それに加えて、「大きな区役所・小さな市役所」にして、「区役所を区民のメインステージ」にとの謳い文句に大きな期待に胸躍らせ待っている。

しかし、その謳い文句は未だに実現を見ていない。されていない。

合併した市町村には、それぞれに長きに培われてきた【伝統・文化】などが伝承されて来ている。

そんな5カ町村で構築されているのが【西蒲区】であります。

新潟市西蒲区として誕生して10数年を経過して、漸く【区の一様感】が醸成されつつある中で、【合区問題】は区民のみなさんからは理解が得られないものとする。

従つて、【行財政改革】という名の下での御旗で【区の再編問題】を論ずることには、無理があると『あらた』は考える。

### おわりに

- ・新市長を迎えての「12月定例会」は？
- ・その前に人事委員会の勧告を受けての「11月臨時会」？
- ・いずれの間に、新市長の【所信表明】がなされるものとする。
- ・その内容を誰が語るか、気に成るところです。 (あらた)



## 支 出 伝 票

会 派 名	新市民クラブ	議 員 名	田 辺 新
支 出 年 度	平成30年度	整理番号 (項目別)	3
支 出 項 目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 調査研修費 <input type="checkbox"/> 奨励・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input checked="" type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	平成31年01月25日		
支出年月日	平成31年01月24日		
支 出 金 額	194,832円		
支 出 先	新潟市西蒲区漆山8680-1 北洋印刷株式会社 代表取締役 石田三夫		
使 途 内 容	『田辺あらた議会報告第50号』印刷代並びに新聞折込み料として		
備 考	発行部数 16,400部 (うち新聞折込み部数16,400部) 新聞折込み実施日01月25日		
領収書 添付			

領 収 書
第 号

田 辺 新 様

¥194,832+

但し印刷代  
上記金額正に領収いたしました。

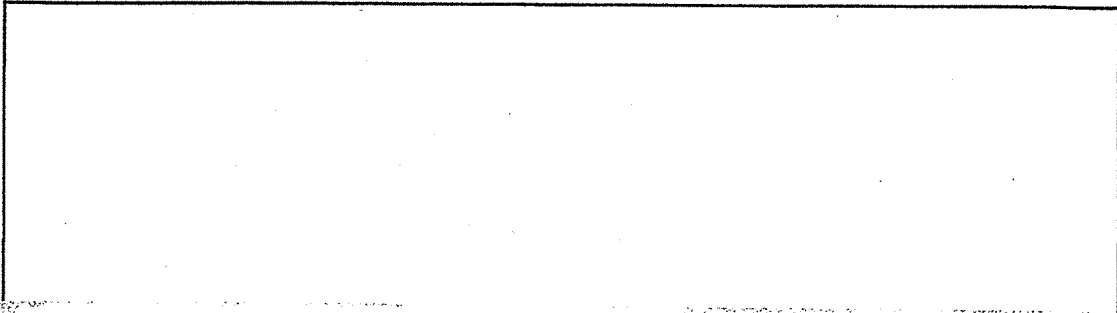
平成31年1月24日



北洋印刷株式会社  
 代表取締役 石田三夫  
新潟県新潟市西蒲区漆山8680番地1 漆山企業ビル  
 TEL (0256) 72-2345(代) FAX (0256) 72-6600

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。  
備考欄には按分率等を記入してください。

領収書添付用紙



請 求 書

平成31年 1月23日



北洋印刷株式会社

〒410-0001 静岡県新浜市西蒲区津山860番地  
 (津山企業団地)  
 電話 (0256) 72-2345番内  
 FAX (0256) 72-6606番

田辺 あらた 殿

下記の通り請求致します

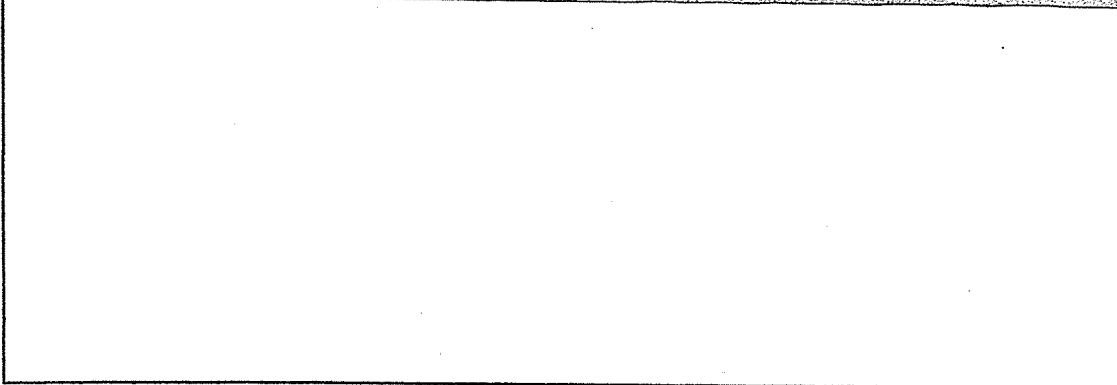
税込合計 請求額 ¥ 194,832

納品月日	品 名	サイズ	数 量	単 位	単 価	金 額
1/23	議会報告 第50号		16,400	枚	11	180,400

取引銀行



消費税8% 19,432



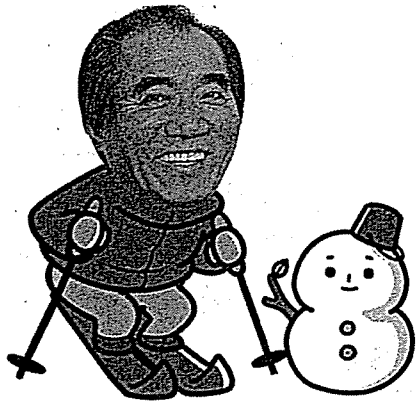
※重ならないように貼付してください。

# 田辺あられた議会報告

第50号 平成31年1月25日

編集・発行

新潟市議会議員 田辺あられた  
〒953-0054 新潟市西蒲区漆山2788番地  
TEL・FAX (0256) 73-2266



## 中原新市長迎えての

## 『12月定例会』!



～ はじめに ～

昨年の10月28日の新潟市長選挙で、新しく中原八一氏が当選され11月19日に初登庁された。

就任するや椅子も温める暇もなく、官公庁への「就任挨拶」回りや、各種団体の「会合」などを精力的に消化し、併せて市議会の各会派からの「新年度予算要求意見書」にも積極的に対応された。

そんな中で、12月4日には新市長としての初議会となる『12月定例会』を招集され、上程した「議案説明」や「質問」に登壇した25人の議員の発言に耳を傾け、真剣な質疑を交わされた「中原丸」は、無難に出航したように『あられた』は映った。

そこで、【本会議】での「質疑内容」や『あられた』が所属する【環境建設常任委員会】での所見を整理し、「議会報告第50号」として発行しました。

是非、一読の上、「疑問な点」などがありましたら、ご一方頂ければ幸いです。

## 本会議では

### 新市長の「市政に臨む 姿勢！」

『12月定例会』初日の【本会議】では、中原八一新市長より上程された「議案説明」の中で、新市長としての「所信の一旦」を披露された。

その「所信表明」を聴こうと本会議場には、マスコミ関係者をはじめとする多くの市民で傍聴席は埋まりました。

その中での冒頭で新市長は、「このたび、新潟市長に就任させていただきました中原八一です」と挨拶し、「市長就任以来、新潟市政を預かる責任の大きさ、重さを日々感じている」と続け、「議会のみなさま、市民のみなさまのご協力を得て【生まれ育った新潟市のため】に、【新潟市民のため】に、全力を尽くしますので、宜しくご指導をお願い申し上げます」と丁寧に語りかけた。

それに加えて、「この12月議会は、私にとって初めての議会となります。

この機会に、貴重なお時間を頂戴し、私の市政運営に臨む【基本的な考え】を述べさせていただきます」と発言し、【基本姿勢】と【基本政策】、それに【市民・議会】への呼び掛けを強調した。

ごらんください。

田辺あられたの日記

検索

「田辺あられたの日記」では、その日、その日の「あられたの行動」を

これを聴きながら『あらた』は、中原新市長の「市政に取り組む姿勢」の並々なぬ熱意が感じ取れた。中原市長の「所信表明」を受けて、各会派代表7人による「代表質問」と、18人の「一般質問」の25人の議員が登壇し、中原市長に対して「新潟市政に取り組む政治姿勢」を問い質した。

## 『政令市新潟の第2ステージ！』

これに対して中原市長は、「篠田前市長は【平成の大合併】により本州日本海側初の81万人の【政令指定都市新潟】を誕生した。この間の10年は、政令都市の土台づくりの第1ステージでありまして、これからの【政令市新潟】をどのような姿に創りあげて行くかという【第2ステージ】へのバトンを引き継いだ」と抱負を述べた。

## 『市民目線の行政運営』

我が会派の志田クラブ長が「選挙戦を振り返っての所見」を尋ねたのに対して、中原市長は「選挙期間中に8つの全区を回って、いろんなことを聞かせてもらうことができた。今になっては、そのことが私にとって大きな財産として残っています。

この【市民目線】を大切にして【市政運営】にあたって行きたい」と抱負を語った。

その他の会派の多くの代表から質問が浴びせられた前市長時代に導入した【BRT・新バスシステム事業】に対する「中原市長の考え方」を質した。

これに対して中原市長は「利用者の意見に耳を傾け、不便な点はバス会社に改善方策を求め、利用しやすい運行体制にするように務めたい」と答弁した。

そんな中で、7会派の「代表質問」が終えると18人の議員が順次登壇し、三者三様の「一般質問」を市長に浴びせた。

そこで、我が会派の同僚議員の「一般質問内容」を中心に触れてみたいと思う。

## 三人三様の「一般質問」！

「一般質問」二日目のトップバッターとして我が会派の前議長が登壇して、ベテラン議員らしく辛めの鋭い内容の質問を中原新市長に挑んだ。

開口一番、市長に対して「10の選挙公約」の中で「出来ないことは言わない」、そして「市民目線を忘れないこと」を忠告してから質問に入った。

質問の中の趣旨と願意の意味が『あらた』には、良く理解することが出来ない点があったが、①「議員と市長の違い」、②「新潟市の強みと課題」、③「対立候補の施策の取入れ」などを問うた。

さすが、県議16年と参院議員6年の豊富なキャリアを活かして適切な答弁内容で応酬された。

次いで、市長選で中原候補が訴えて来た「国・県・市とのパイプの太さ？」を捉えて、①「自民党の応援」、②「当選後、自民党離党の理由」、③「パイプの太さ」、④「新潟市のまちづくり」、⑤「10の公約である基本政策」などを質したのに対して中原市長は、それを真摯に受け止め、真剣に答弁されていた。

この姿を拝見しながら「答弁内容」を伺っていましたが、質問内容に逃げることなく真剣に対応している姿勢を拝見するに、これこそ【本物】との印象を強く感じた。

その一例を挙げると「当選後、自民党離党の理由」は、中原市長は「長年にわたって【自民党員】として活動を続けて来た中で、今回の市長選に際しても自民党本部の【支持】が受けたこと」は事実である。

そこで、市長選を終えて中原市長から、我々一部の市議に相談が持ち掛けられ、「市長に当選したか

らには、このまま自民党員として執務を執行すべきかどうか？」と葛藤しているとのことでした。

これに対して、いろんな意見が続出する中で『あらた』の経験から、「首長は一党一派に属すべきでない！多くの市民代表だ！」と訴えた。

この意見に全員の賛同を得て、中原候補は翌日の朝に上京し、自民党本部を訪れ「無所属の立場で市政運営に当たる理由を説明し」承諾を得ることができたとの経過がある。

「みんなで相談しよう！」との幅広い心の持ち主という一面を見た『あらた』でした。

## 現実を見な！『国との太いパイプ』

演壇に上がった我が会派の1期生議員は、先のベテラン議員に比べて【弁口】は劣るものの、「活気あふれる情熱」を燃やし直球勝負で中原市長に挑んだ。

若手の議員は、2回目の環境建設副委員長らしく管内を走る国道116号線の【田島交差点】のラッシュ時の混雑具合を取上げた。

そして、長年の間の「田島交差点」の経緯を説明して、道路改良の必要性を訴えた。

そんなこともあって、地元選出議員らをはじめ市と地元関係集落の4つのコミ協などで「国道116号線新潟西道路曾和IC～明田間の4車線化期成同盟」を結成した。

そして、12月3日に名誉会長（新潟市長中原八一）を先頭にして国土交通省へ【要望書】を持参して陳情活動を展開した。

これらの関係で、何度となく国交省に出向いているが、官僚から中原市長に近寄ってきて、「挨拶」している光景を目の前で見せつけられたことで、これこそが、中原市長が選挙期間中に訴えていた【国との太いパイプ】だと思いました。

今もなお、国交大臣政務官の肩書が残っているんだと思いながら塚田国交副大臣室に入った。

中原市長から国道116号線の「田島交差点」の状況説明を終えると、副大臣の方から「わかりました。県の状況は大丈夫ですか？」との問いに、市長は「はい、大丈夫です」とハッキリと応えていたとのこと。

その後、森昌文事務次官と池田豊人道路局長とも面談し、「要望書」の内容を説明し、国土交通省舎を跡にしながら中原市長の国との【太いパイプ関係】を見た一日だったと話し合ったそうです。

## 【環境建設常任委員会】では

「12月定例会」も中盤戦を終えた14日～19日までの6日間の日程で「環境建設常任委員会」が開催された。

### 大丈夫？今年度の【除雪体制】

昨年度の【ドカ雪】に閉口したようで、委員の誰が言うともなく「今年度の【除雪体制】は大丈夫？」との質問が続出した。

これに対して土木総務課長は、「昨年度の【降雪】が12月に入ると降り出したことから、除雪業者との業務契約が締結されていない段階で、あの【ドカ雪】に見舞われた。

その「苦い経験」を活かして「今年度の改善点や新たな対策」について説明を求めた。

これに対して土木総務課長は、「今年度は12月に入った1日に除雪業者と契約行為を完了し、何十年振りかに【除雪出動式】をした」と答え、万全な【除雪体制】の準備を敷いているとのこと。

本用紙の色は、西蒲区のカラー“ハーベスト・イエロー”を

加えて、「今年度から新たに【除雪車運行管理システム（ICT）】を導入して、効率的な除雪作業を展開する」との答弁があった。

そのことを若手の議員が取り上げ、「多くの市民に対して啓発するよう、【市報にいがた】などを活用してPRに徹せよ」との要望が提起された。

そこで、土木総務課長は「平成31年度版としてマンガ風に、【にいがた「ゆきみち」ガイド】を作成し、全戸配布する」と答えた。

最後にベテラン議員が、「昨年度の除雪費が106億円もの膨大な額を要したのに対して国庫金が小額であったことで、自己財源を67億円の持ち出しとなったが、今年度はどうする？」との難題が投げ掛けられた。

これに対して土木総務課長は、「国交省をはじめ総務省などとの連携を密にして、引き出せる国庫金対象に結び付けたい」との答弁をした。

【あらた】の胸中には、「【国交大臣政務官】の経験を活かす、腕の見せどころだ！」と想いを巡らせていた。

それにしても中原市長は、開運に恵まれているやら、「西蒲区をはじめ市内で【除雪車】が出動した？」との【情報】は聞こえて来ない。

## 前倒し承認で「危険ブロック塀撤去事業」!

前回の『9月定例会』での【環境建設常任委員会】に付託された議案の審査の中で、「危険ブロック塀等撤去工事補助事業」の施行日に対して【あらた】が、異論を訴えていた条例であります。

これは、去年の6月18日に発生した「大阪府北部地震」でブロック塀倒壊による児童死亡事故や、新潟市西区で発生した児童殺害事故を受けて、通学路における児童の安全性を確保するため、危険な状態にある「危険ブロック塀等撤去補助事業」の費用の一部を補助する制度を9月補正（15,000千円）で新設した。

ところが需要が多く、予算をオーバーするから「12月補正」で10,000千円を追加する議案であります。

また、【あらた】が訴えていた「施行時期」を10月からの施行を6月までに遡って実施する案を建設行政課長が説明した。

これにより、角田浜の旧町営保育園の【危険ブロック塀の除去工事】も対象となります。

## おわりに

- ・新市長を迎えての「12月定例会」は、穏やかに終えた感にあります。
- ・去年は、【ドカ雪】に悩まされた「2月定例会」。
- ・2月19日に招集予定の「2月定例会」は何が待っているやら？
- ・緊縮財政の中で、中原市政下で「どんな内容の予算書」が提出するか？
- ・選挙公約の1つでも中原カラーが出せるか？手腕の「新年度予算予算」。

(あらた)



用いています。

本紙は政務活動費を活用しております。



支出伝票一覧表

会派名	新市民クラブ		議員名	田 辺 新	
支出年度	平成 30 年度	支出項目	広 聴 費		1
整理番号	支出年月日	支 出 内 容		支出金額	備考
1	30. 12. 10.	「全体会議」お茶代及び会場		78,736 円	
合 計				78,736 円	

※支出項目ごとに支出年月日順にまとめ、表紙として提出してください



## 支 出 伝 票

会 派 名	新市民クラブ	議 員 名	田 辺 新
支 出 年 度	平成30年度	整理番号 (項目別)	1
支 出 項 目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 調査研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	平成30年12月02日		
支出年月日	平成30年12月10日		
支出金額	78,736円		
支 出 先	新潟市西蒲区巻甲 2533 有限会社三笠屋 取締役社長 本間 征志		
使 途 内 容	中原新市長に「何を望む？」と題した 『全体会議』での会場費及びお茶代として		
備 考	参加者 72名と主催者及び助言者2名の 計 74名		

領収書 添付

No. \_\_\_\_\_

領 収 証

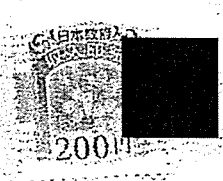
平成30年12月10日

市会議員 田辺新 様

★ 78,736-

但 1/2 会場費、お茶代として

上記正に領収いたしました



内 訳 \_\_\_\_\_

税抜金額 \_\_\_\_\_

消費税額等( %) \_\_\_\_\_

〒953-0041 新潟市西蒲区巻甲2533

料 亭 三 笠 屋

※領収書は、領収書控えと併せて提出してください。

備考 \_\_\_\_\_

様式2

整理番号 1

紙田村浜寺寺口口

〒

料亭 三笠屋

市会議委員 田辺新 様

〒953-0041  
新潟県新潟市西蒲区巻甲2533  
Tel 0256-72-2323 Fax 0256-72-7133  
取引銀行

三笠屋  
三笠屋  
三笠屋  
三笠屋  
三笠屋

請 求 書

伝票No.	216	御利用日	30/12/2	人数	74
-------	-----	------	---------	----	----

科目名称	数量	金額
会場費	74	67,636
お茶	74	11,100
小計		78,736
サービス料		0
立替小計		
御利用額合計		78,736

御請求額	78,736
------	--------

# 実施報告書

平成30年12月3日

新潟市議会議長様

氏名 田辺 新



下記のとおり、実施したので報告します。

行 事 名	新市長に「何をのぞむ?」「全体集会」
日 時	平成30年 12月2日 (日) 午後1時30分～ 午後3時30分
場 所	三笠屋
参加議員名	田辺 新
全体参加者数	72名
内 容 (目 的)	別紙のとおり
備 考	

平成30年11月15日

巻地区・各自治会長 各位 様

巻 婦人会 会長 小林淑子 様

新潟市議会議員 田 辺 新

新市長に「何をのぞむ?」「全体集会」のご案内

年の暮れも近づく中で、何かと気早やしさを感ずる今日この頃であります。

そんな中ではありますが、後援会のみなさんをはじめ多くの区民のご要望に  
応えるべき「新市長に何を望む?」と題した「全体会議」を開催し、みな  
さんのご意見が市政に反映するよう『あらた』は一生懸命頑張ります。

つきましては、下記日程により開催しますので参加の上、日ごろ考えてお  
られることを聞かせてもらいたら企画しました。

参加を希望される方は、11月20日までに事務所へ申し込み下さい。

#### 記

1. 日 時 12月2日(日) 午後1時30～午後3時30分まで
2. 会 場 三 笠 屋 (巻駅前通り 電 話 72-2323)
3. 助言者 巻地区まちづくり協議会・若林薫会長

新市長に「何を望むか？」と題した『全体会議』

※ 開催日 平成30年12月 2日（日曜日）

※ 開催時間 午後1時30分～午後3時45分

開催場所 巻駅前通り 割烹「三笠屋」大広間

主催者 新潟市議会議員（市会） 田辺 新

助言者 巻地区まちづくり協議会 若林馨会長

参加者 西蒲区民 72名（うち男子33名：女子39名）

（うち高校・大学生8名）

1. 【開会挨拶】・・・主催者（新潟市議会議員 田辺 新）

暮れも迫った今日この頃、気忙しい中、こんなに多くの区民のみなさんから参加して頂いてことに、主催者として心より感謝申し上げます。

今日の「全体会議」の結果が新潟市政に「必ずや反映されますよう」に頑張りたいと思いますので、闊達なご意見やらご要望が続出することを期待して開催の挨拶とさせていただきます。

最初に、今日の司会役であります『あらた』の方より、先の10月28日の新潟市長選で激戦の結果、新しく中原八一市長が就任され11月19日に初登庁されました。

そこで、中原八一新市長の選挙公約を振り返ってみますと、大看板のタイトル「あなたと一緒に笑顔あふれる新潟に！」と訴え出す文句に

- ①「元気なまち新潟」、
- ②「便利なまち新潟」、
- ③「人の集まるまち新潟」、
- ④「安全・安心なまち新潟」、
- ⑤「元気なお年寄りが多い町まち新潟」、
- ⑥「子どもを産み育てやすいまち新潟」、
- ⑦「未来に夢の持てるまち新潟」、
- ⑧「農家が幸せなまち新潟」、
- ⑨「健全・健康なまち新潟」、
- ⑩「区」が活気あふれる新潟

の10本の柱を立て、これの実現に邁進すると訴えた。

参加されたみなさんからは、今日の主眼である『全体会議』の中で、「中原新市長に何を望む？」と題して「どんな政策の実現に期待するか」を後半戦で聞かせて貰いたいと考えておりますので、宜しくお願いします。

今日は初めての試みとして「高校生と大学生」からも参加してもらいました。

そして、日ごろ気付いておられる点について、訴えてもらいければ幸いです。

また、巻地区まちづくり協議会の若林会長さんからは、中原八一新市長に「西蒲区の独自要求」を提出されたとのことですので、それに対する内容説明を受けまして、後半のついでの説明をお願いし、たいと考えております。

## 2. 【助言者挨拶】・・・巻地域まちづくり協議会若林馨会長

今日は「我が故郷・西蒲区の発展に関心をお持ちの深いみなさん」が、こんなにも大勢参集されたことに深く感謝申し上げます。

今ほどは、『あらた』市議からは、中原新市長の選挙公約の10本の話がありましたが、私たちは【オールにいがた】の話ではなく、巻地域まちづくり協議会では【西蒲区で実施してもらいたいこと】を、5本の柱に掲げ中原新市長に提言しました。

- ①【地方分権型】の推進として「西蒲は西蒲区として存続してもらいたい」、
- ②そのため【西蒲の牙城】である「西蒲区役所の早期建設と区民サービス」、
- ③【大きな区役所・小さな市役所】の実現「区長権限（人事・財政）強化」、
- ④【農業特区指定】を活かし「大規模営農の推進に機械・施設の補助制度」、

⑤【自然に恵まれた観光資源】を活かした「佐渡観光協会との広域観光」、この5本の柱を実験するよう、巻地域まちづくり協議会としては西蒲区自治協議会と連携を密にし、具現化を目指し頑張ることにしています。

### 3. 【全体会議】では

以上のような新市長の「10本の公約」と「西蒲区の独自要求」の趣旨説明を聞かれた内容でも、参加者らの個別要望であっても構えませんが、「中原新市長に望むこと」を出し合って貰いたいと思っております。

中原新市長に取っては「発初議会」となる『12月定例会』が、明後日の12月4日から開会される予定にあります。

内容によっては『12月定例会』の場で『あらた』から要望事項として取り上げてみたいと考えます。

今回の「全体会議」にはじめての試みとして「高校生と大学生」が参加したことで、まずは学生の男女に要望を求めたところ、「電車通学しているが、風害に弱い越後線であることに困惑しているので、是が非でも改善をお願いしたい！」との発言があり、多くの賛同者の声があった。

加えて「巻駅舎の改築と併せて東口の開設を！」との要望も高かった。

学生が多く利用する「巻駅周辺の整備に関する要望」が多いことに驚嘆さ



せられた。

西蒲区単独事業として取り組んでいるものもあるが、JR東日本新潟支社に申入れをしている事業もあり、今後とも早期事業化をするよう依頼する。

次いで、女性のみなさんに「要望事項」を尋ねて見たところ「ゴミの分別方法が細分化し過ぎる。巻地区の焼却場はもう少し大別でも良いのではないか？」との意見が多かった。

確かに鎧潟清掃工場は熔融方式で分別を不要との触れ込みで処理してきたが、新潟市の考え方は稼働年数から使用不能になった場合に、一律の分別方法に今から統一したいとの考えにあるようですと、協力をお願いした。

しかし、理解度は低いようでありました。

また、西蒲区の人口減少から中原市長が掲げる「子どもを産み育ちやすい新潟市」の具現化を、「先ずは西蒲区で実践してもらいたい」との要望も多数出された。

そして、「区役所の中で顔の知らない職員が数少なくなったので、定期異動の際に出来れば西蒲区出身の職員を配置するよう配慮してもらいたい」との要望があった。

そして、若林まちづくり協議会長が言われた「西蒲の牙城でもあり、区民のメインステージである西蒲区役所の早期完成を望む！」との発言に多く

の歓声が上がった。

これについては、『あらた』の方から現在の動きについて「区役所の整備は、東・西・北・西蒲・南の順番で着手計画にあった。最初の東区は順調に進み、西区で新しい商業地・亀戸（案）と、既存の区役所後地に建設するとの2案が提出され、区民の意見を集約した結果、既存の区役所跡地と決定するまでの間、1年くらいを遅れて完成を見た。

次いで、北区の建設となったが建設場所で、旧豊栄市役所跡と旧新潟市・松浜との2案が提出され、建設場所の選定に時間を要し、結果して旧豊栄市役所周辺に決定を見まして、要約、本年の秋には本設計の業者委託までできた。

完成まで2～3年を要しても、もう4～5年のうちには、西蒲区役所が完成するものと考えられると説明すると、も～う5年は長い、短期期間で終わらないと見られなくなる」との意見に賛同する老若男女の多数の声が上がった。

最後に、男性の意見を伺うと中原新市長が訴える「農家が幸せなまち新潟」と、巻地域まちづくり協議会が提言した「西蒲区で実施してもらいたいこと」の5点のうち「大規模営農の推進に農業機械・施設の補助制度」に関心が高い。

「がんばる農家支援事業をより利用しやすくしてもらいたい」との要望が出された。

中原市長の10の柱に掲げる「【区】が活気あふれる新潟」にする為に、「西蒲区の区長権限を強化して、常に即答出来得る体制にしてもらいたい」との意見が述べられた。

1例として、各集落の自治会長が些細な道路の不陸整正工事くらいは「建設課長権限で改修が実施されるよう」にしてもらいたい」との意見がありました。

#### 4.【総括】

- (1) 高校生と大学生が要望した「通学電車の安全性を確保」と、「巻駅舎の改修について」は、巻地域まちづくり協議会で検討・協議会から新潟支社長宛の「要望書」を策定してもらい、中原市長に依頼しJR東日本新潟支社長に面談の上、陳情活動を展開したいと考えている。
- (2) 他の要望事項については、西蒲区議員団で実施している「市長要望書」の提出に合わせて陳情したいと考えている。

以上

## 支出伝票一覧表



会派名	新市民クラブ		議員名	田辺 新	
支出年度	平成30年度	支出項目	資料購入費	No. 1	
整理番号	支出年月日	支出内容		支出金額	備考
1	30.4.28.	『朝日新聞』(4月分)購読料		3,093円	
2	30.4.30.	『公明新聞』(4月分)購読料		1,887円	
3	30.5.29.	『朝日新聞』(5月分)購読料		3,093円	
4	30.5.30.	『公明新聞』(5月分)購読料		1,887円	
5	30.6.29.	『朝日新聞』(6月分)購読料		3,093円	
6	30.6.30.	『公明新聞』(6月分)購読料		1,887円	
7	30.7.29.	『朝日新聞』(7月分)購読料		3,093円	
8	30.7.31.	『公明新聞』(7月分)購読料		1,887円	
9	30.8.30.	『朝日新聞』(8月分)購読料		3,093円	
10	30.8.31.	『公明新聞』(8月分)購読料		1,887円	
11	30.9.30.	『朝日新聞』(9月分)購読料		3,093円	
12	30.9.30.	『公明新聞』(9月分)購読料		1,887円	
13	30.10.28.	『朝日新聞』(10月分)購読料		3,093円	
14	30.10.30.	『公明新聞』(10月分)購読料		1,887円	
15	30.11.28.	『朝日新聞』(11月分)購読料		3,093円	
16	30.11.30.	『公明新聞』(11月分)購読料		1,887円	
17	30.12.28.	『朝日新聞』(12月分)購読料		3,093円	
18	30.12.29	『公明新聞』(12月分)購読料		1,887円	
19	31.1.28.	『朝日新聞』(1月分)購読料		3,093円	
20	31.1.29.	『公明新聞』(1月分)購読料		1,887円	
21	31.2.26.	『朝日新聞』(2月分)購読料		3,093円	
22	31.2.26.	『公明新聞』(2月分)購読料		1,887円	
23	31.3.28.	『朝日新聞』(3月分)購読料		3,093円	
小 計				57,873円	

※支出項目ごとに支出年月日順にまとめ、表紙として提出してください

会派名	新市民クラブ		議員名	田 辺 新	
支出年度	平成 30 年度	支出項目	資料購入費	No. 2	
整理番号	支出年月日	支 出 内 容		支出金額	備考
24	31. 3. 31.	『公明新聞』（3月分）購読料		1,887 円	
25	31. 4. 24.	『農業新聞』（6ヶ月分）購読料		15,738 円	
26	31. 4. 23	内外ニュース新潟懇談会会費		54,000 円	
		小 計		71,625 円	
		合 計		129,498 円	

※支出項目ごとに支出年月日順にまとめ、表紙として提出してください

## 支 出 伝 票

会 派 名	新市民クラブ	議 員 名	田 辺 新								
支 出 年 度	平成30年度	整理番号 (項目別)	1								
支 出 項 目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 調査研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費										
実施年月日	平成30年04月01日～平成30年04月30日										
支出年月日	平成30年04月28日										
支 出 金 額	3,093円										
支 出 先	新潟市西蒲区巻甲1642-3 ASA巻 朝日新聞サービスアンカー巻										
使 途 内 容	『朝日新聞』（4月分 購読料として）										
備 考	1紙目新潟日報										
領収書 添付											
 <div style="display: inline-block; vertical-align: middle;"> <p style="margin: 0;">18 年 4 月分</p> <p style="margin: 0;">4月28日</p> </div> <div style="display: inline-block; vertical-align: middle; margin-left: 20px;"> <p style="margin: 0; font-size: 1.2em;">領 収 証</p> <p style="margin: 0;">田 辺 新 様</p> </div>											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">銘 柄 名</th> <th style="width: 10%;">部 数</th> <th style="width: 10%;">金 額</th> <th style="width: 40%;">合 計 金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>朝日新聞</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">3093</td> <td style="text-align: center;">3,093 円</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 5px;">上記金額を領収しました。</p>				銘 柄 名	部 数	金 額	合 計 金 額	朝日新聞	1	3093	3,093 円
銘 柄 名	部 数	金 額	合 計 金 額								
朝日新聞	1	3093	3,093 円								
ASA巻 朝日新聞サービスアンカー巻 〒953-0041 新潟市西蒲区巻甲1642-3 TEL: 0256-73-7607											
ご購読ありがとうございます。領収金額には、消費税が含まれています。											

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

領収書添付用紙

第1紙 新潟日報

領 収 書

No. 206-42

20年 4 月 27 日

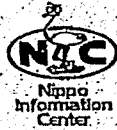
田 辺 新 様

金 57,116 -

収 入  
印 紙

但し H30.4.11 ~ H31.3月分

新潟日報 朝刊 2020年 4月分



新潟県新潟市西蒲区巻甲2204

新潟日報 NIC 巻

有限会社 古寺新聞店

電話 (0256) 72-2016

※重ならないように貼付してください。

## 支 出 伝 票

会 派 名	新市民クラブ	議 員 名	田 辺 新
支 出 年 度	平成30年度	整 理 番 号 (項目別)	2
支 出 項 目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 調査研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	平成30年04月01日～平成30年4月30日		
支出年月日	平成30年04月30日		
支 出 金 額	1,887円		
支 出 先	長岡市 大島新町 2-1-2    販売店 安藤勝弘		
使 途 内 容	『公明新聞』（4月分）購読料として		
備 考	/紙日朝日報		

領収書 添付

### 新聞購読料 領 収 証

田辺 新 様

ご購入ありがとうございます。  
下記金額を正に領収いたしました。

2018年4月分    領収日 2018年4月30日  
領収金額 **¥1,887**

品 名	定 価 (税 込)	部 数	金 額

### その他購読料等 領 収 証

品 名	定 価 (税 込)	部 数	金 額
公明新聞	1,887	1	1,887

販売店 安藤 勝弘  
住 所 長岡市大島新町2-1-2  
TEL 0258-27-4338    FAX 0258-28-0219

印 申 込 No. XXXXXXXXXX

備考欄には按分率等を記入してください。



## 支 出 伝 票

会 派 名	新市民クラブ	議 員 名	田 辺 新								
支 出 年 度	平成30年度	整理番号 (項目別)	3								
支 出 項 目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 調査研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費										
実施年月日	平成30年05月01日～平成30年05月31日										
支出年月日	平成30年05月29日										
支 出 金 額	3,093円										
支 出 先	新潟市西蒲区巻甲1642-3 ASA巻 朝日新聞サービスアンカー巻										
使 途 内 容	『朝日新聞』（5月分 購読料として）										
備 考	1紙 新潟日報										
領収書 添付											
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <h3>領 収 証</h3> <p>18 年 5 月分</p> <p>5月29日</p> <p>田 辺 新 様</p> </div> </div>											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">品 名</th> <th style="width: 10%;">部 数</th> <th style="width: 15%;">金 額</th> <th style="width: 35%;">金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>朝日新聞</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: right;">3093</td> <td style="text-align: right; border: 2px solid black;">3,093 円</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 5px;">上記金額を領収しました。</p>				品 名	部 数	金 額	金額	朝日新聞	1	3093	3,093 円
品 名	部 数	金 額	金額								
朝日新聞	1	3093	3,093 円								
ASA巻 朝日新聞サービスアンカー巻 〒953-0041 新潟市西蒲区巻甲1642-3 TEL 0256-73-7607											
ご購読ありがとうございます。領収金額には、消費税が含まれています。											

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。  
備考欄には按分率等を記入してください。

領収書添付用紙

第1紙 新潟日報

領 収 書

No. 206-42

90年 4 月 27 日

田 辺 新 様

金 57,116 -

収 入  
印 紙

但し H20 4月 ~ H21 3月分

新潟日報 朝 刊 (H20 302) 12ヶ月分



新潟県新潟市西蒲区巻甲2204

新潟日報 NIC 巻

有限会社 古寺新聞店

電話 (0256) 72-2016

※重ならないように貼付してください。

## 支 出 伝 票

会 派 名	新市民クラブ	議 員 名	田 辺 新
支 出 年 度	平成30年度	整理番号 (項目別)	4
支 出 項 目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 調査研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	平成30年05月01日～平成30年05月31日		
支出年月日	平成30年05月 <sup>30</sup> 日		
支 出 金 額	1,887円		
支 出 先	長岡市 大島新町 2-1-2    販売店 安藤勝弘		
使 途 内 容	『公明新聞』(5月分)購読料として		
備 考	1紙目新報日報		

領収書 添付

### 新聞購読料 領 収 証

田辺 新 様

ご購入ありがとうございます。

下記金額を正に領収いたしました。

2018年5月分

領収日 5月30日

領収金額 **¥1,887**

品 名	定価(税込)	部 数	金 額

### その他購読料等 領 収 証

品 名	定価(税込)	部 数	金 額
公明新聞	1,887	1	1,887

販売店 安藤 勝弘  
住 所 長岡市大島新町2-1-2  
TEL 0258-27-4338 FAX 0258-28-0219

印 申 込 番 号

備考欄には按分率等を記入してください。

## 支 出 伝 票

会 派 名	新市民クラブ	議 員 名	田 辺 新								
支 出 年 度	平成30年度	整理番号 (項目別)	5								
支 出 項 目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 調査研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費										
実施年月日	平成30年06月01日～平成30年06月30日										
支出年月日	平成30年06月29日										
支 出 金 額	3,093円										
支 出 先	新潟市西蒲区巻甲1642-3 ASA巻 朝日新聞サービスアンカー巻										
使 途 内 容	『朝日新聞』(6月分 購読料として)										
備 考	1紙目新潟日報										
領収書 添付											
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>18 年 6 月分</p> <p>6月29日</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>領 収 証</p> <p>田 辺 新 様</p> </div> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">品 名</th> <th style="width: 10%;">部 数</th> <th style="width: 10%;">金 額</th> <th style="width: 30%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>朝日新聞</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">3093</td> <td style="text-align: center;">3,093 円</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 5px;">上記金額を領収しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="font-size: small;"> <p>ASA巻 朝日新聞サービスアンカー巻</p> <p>〒953-0041 新潟市西蒲区巻甲1642-3</p> <p>TEL 0256-73-7607</p> </div> </div> </div> <p style="text-align: center; font-size: x-small; margin-top: 10px;">ご購読ありがとうございます。領収金額には、消費税が含まれています。</p>				品 名	部 数	金 額		朝日新聞	1	3093	3,093 円
品 名	部 数	金 額									
朝日新聞	1	3093	3,093 円								

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

# 領収書添付用紙

第1紙 新潟日報

## 領 収 書

No. 206-42

2010年 11月 27日

田 辺 新 様

金 57,116 -

収 入  
印 紙

但し 4月 21日 ~ 4月 30日分

新潟日報 朝刊 2010年 11月 27日分



新潟県新潟市西蒲区巻甲2204

新潟日報 NIC 巻

有限会社 古寺新聞店

電話 (0256) 72-2016

※重ならないように貼付してください。

# 支 出 伝 票



会 派 名	新市民クラブ	議 員 名	田 辺 新
支 出 年 度	平成30年度	整理番号 (項目別)	6
支 出 項 目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 調査研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	平成30年06月01日～平成30年6月30日		
支出年月日	平成30年06月30日		
支出金額	1,887円		
支 出 先	長岡市 大島新町 2-1-2      販売店 安藤勝弘		
使 途 内 容	『公明新聞』(6月分) 購読料として		
備 考	1紙目 新潟日報		

領収書 添付

<p style="text-align: center;">新聞購読料 領 収 証</p> <p>田辺 新 様</p> <p>ご購入ありがとうございます。 下記金額を正に領収いたしました。</p> <p>2018年6月分      領収日 6月30日</p> <p style="text-align: right;">領収金額 ¥1,887</p>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; border: 1px solid black;">品 名</td> <td style="width: 25%; border: 1px solid black;">品 名</td> <td style="width: 25%; border: 1px solid black;">品 名</td> <td style="width: 25%; border: 1px solid black;">品 名</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;">公明新聞</td> <td style="border: 1px solid black;">公明新聞</td> <td style="border: 1px solid black;">公明新聞</td> <td style="border: 1px solid black;">公明新聞</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;">1,887</td> <td style="border: 1px solid black;">1</td> <td style="border: 1px solid black;">1</td> <td style="border: 1px solid black;">1,887</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;">金額</td> <td style="border: 1px solid black;">金額</td> <td style="border: 1px solid black;">金額</td> <td style="border: 1px solid black;">金額</td> </tr> </table>	品 名	品 名	品 名	品 名	公明新聞	公明新聞	公明新聞	公明新聞	1,887	1	1	1,887	金額	金額	金額	金額	<p style="text-align: center;">その他購読料等 領 収 証</p> <p>販売店 安藤勝弘 長岡市大島新町2-1-2 TEL 0258-27-4338      FAX 0258-28-0219</p> <p style="text-align: right;">お申込No</p>
品 名	品 名	品 名	品 名															
公明新聞	公明新聞	公明新聞	公明新聞															
1,887	1	1	1,887															
金額	金額	金額	金額															

備考欄には按分率等を記入してください。

## 支 出 伝 票

会 派 名	新市民クラブ	議 員 名	田 辺 新								
支 出 年 度	平成30年度	整理番号 (項目別)	7								
支 出 項 目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 調査研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費										
実施年月日	平成30年07月01日～平成30年07月31日										
支出年月日	平成30年07月29日										
支出金額	3,093円										
支 出 先	新潟市西蒲区巻甲1642-3 ASA巻 朝日新聞サービスアンカー巻										
使 途 内 容	『朝日新聞』(7月分 購読料として)										
備 考	1紙目 新潟日報										
領収書 添付											
 <div style="display: inline-block; vertical-align: middle;"> <p style="margin: 0;">18 年 7 月分</p> <p style="margin: 0;">7月29日</p> </div> <div style="display: inline-block; vertical-align: middle; margin-left: 20px;"> <p style="margin: 0; font-size: 1.2em;">領 収 証</p> <p style="margin: 0;">田 辺 新 様</p> </div>											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">銘 柄 名</th> <th style="width: 10%;">部 数</th> <th style="width: 15%;">金 額</th> <th style="width: 35%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>朝日新聞</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">3093</td> <td style="text-align: center;">3,093 円</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 5px;">上記金額を領収しました。</p>				銘 柄 名	部 数	金 額		朝日新聞	1	3093	3,093 円
銘 柄 名	部 数	金 額									
朝日新聞	1	3093	3,093 円								
<p>ASA巻 朝日新聞サービスアンカー巻 〒953-0041 新潟市西蒲区巻甲1642-3 TEL 0256-73-7607</p> <div style="float: right; text-align: center;">  </div>											
ご購入ありがとうございます。領収金額には、消費税が含まれています。											

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。  
備考欄には按分率等を記入してください。

領収書添付用紙

第1紙 新潟日報

領 収 書

No. 206-42

20年 4 月 27 日

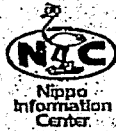
田 辺 新 様

金 57,116 -

収 入  
印 紙

但し H30 4月 ~ H31 3月分

新潟日報 朝 刊 (H30.9.12) 12ヶ月分



新潟県新潟市西蒲区巻甲2204

新潟日報 NIC 巻

有限会社 古寺新聞店

電話 (0256) 72-2016

※重ならないように貼付してください。



# 支 出 伝 票

会 派 名	新市民クラブ	議 員 名	田 辺 新
支 出 年 度	平成30年度	整 理 番 号 (項目別)	8
支 出 項 目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 調査研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	平成30年07月01日～平成30年07月31日		
支出年月日	平成30年07月31日		
支 出 金 額	1,887円		
支 出 先	長岡市 大島新町 2-1-2    販売店 安藤勝弘		
使 途 内 容	『公明新聞』(7月分)購読料として		
備 考	1紙目新潟日報		

領収書 添付

新聞購読料 領 収 証

田辺新様

ご購入ありがとうございます。

下記金額を正に領収いたしました。

2018年7月分    領収日 7月27日    領収金額 ¥1,887

品 名	定価(税別) 部 数	金額	

その他購読料等 領 収 証



品 名	定価(税別) 部 数	金額	
公明新聞	1,887    1	1,887	

販売店 安藤勝弘  
 住所 長岡市大島新町2-1-2  
 TEL 0258-27-4338    FAX 0258-28-0219

お申込No

備考欄には按分率等を記入してください。

## 支 出 伝 票

会 派 名	新市民クラブ	議 員 名	田 辺 新								
支 出 年 度	平成30年度	整理番号 (項目別)	9								
支 出 項 目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 調査研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費										
実施年月日	平成30年08月01日～平成30年08月31日										
支出年月日	平成30年08月30日										
支 出 金 額	3,093円										
支 出 先	新潟市西蒲区巻甲1642-3 ASA巻 朝日新聞サービスアンカー巻										
使 途 内 容	『朝日新聞』（8月分 購読料として）										
備 考	/紙身新潟日報										
領収書 添付											
 <div style="display: inline-block; vertical-align: middle;"> <p style="margin: 0;">18 年 8 月分</p> <p style="margin: 0;">8月30日</p> </div> <div style="display: inline-block; vertical-align: middle; margin-left: 20px;"> <p style="margin: 0; font-size: 1.2em;">領 収 証</p> <p style="margin: 0;">田 辺 新 様</p> </div>											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">銘 柄 名</th> <th style="width: 10%;">部 数</th> <th style="width: 15%;">金 額</th> <th style="width: 35%;">合 計 金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>朝日新聞</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: right;">3093</td> <td style="text-align: right; border: 2px solid black;">3,093 円</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 5px;">上記金額を領収しました。</p>				銘 柄 名	部 数	金 額	合 計 金 額	朝日新聞	1	3093	3,093 円
銘 柄 名	部 数	金 額	合 計 金 額								
朝日新聞	1	3093	3,093 円								
ASA巻 朝日新聞サービスアンカー巻 〒953-0041 新潟市西蒲区巻甲1642-3 TEL: 0256-73-7607											
ご購読ありがとうございます。領収金額には、消費税が含まれています。											

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

領収書添付用紙

第1紙 新潟日報

領 収 書

No.206-42

90年4月27日

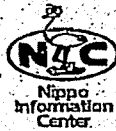
田 辺 新 様

金 57,116 -

収 入  
印 紙

但し H30.4.11 ~ H31.3月分

新潟日報 朝 刊 (2029) 12月分



新潟県新潟市西蒲区巻甲2204

新潟日報 NIC 巻

有限会社 古寺新聞店

電話 (0256) 72-2016

※重ならないように貼付してください。

## 支 出 伝 票

会 派 名	新市民クラブ	議 員 名	田 辺 新
支 出 年 度	平成30年度	整理番号 (項目別)	10
支 出 項 目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 調査研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	平成30年08月01日～平成30年08月31日		
支出年月日	平成30年08月31日		
支出金額	1,887円		
支 出 先	長岡市 大島新町 2-1-2    販売店 安藤勝弘		
使 途 内 容	『公明新聞』(8月分) 購読料として		
備 考	1紙目 新潟日報		

領収書 添付

<p style="text-align: center;">新聞購読料 領 収 証</p> <p style="text-align: center;">田 辺 新 様</p> <p>ご購入ありがとうございます。 下記金額を正に領収いたしました。 2018年8月分</p> <p style="text-align: right;">領収日 8 月 31 日</p> <p style="text-align: right; font-size: 1.2em;">#1,887</p>	<p>商品名 定価税込 部 数 金額</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; height: 40px;"> </td> <td style="width: 10%;"> </td> <td style="width: 10%;"> </td> <td style="width: 50%;"> </td> </tr> <tr> <td style="height: 40px;"> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td style="height: 40px;"> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td style="height: 40px;"> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>																	<p style="text-align: center;">その他購読料等 領 収 証</p> <p style="text-align: center;">公明新聞</p> <p>商品名 定価税込 部 数 金額</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; height: 40px;"> </td> <td style="width: 10%;">1</td> <td style="width: 10%;">1,887</td> <td style="width: 50%;">1,887</td> </tr> </table>		1	1,887	1,887
	1	1,887	1,887																			
<p>販売店 安藤 勝弘 住所 長岡市大島新町2-1-2 TEL 0258-27-4338 FAX 0258-28-0219</p>	<p>商品名 定価税込 部 数 金額</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; height: 40px;"> </td> <td style="width: 10%;"> </td> <td style="width: 10%;"> </td> <td style="width: 50%;"> </td> </tr> </table>					<p>宛申込No. <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span></p>																

備考欄には按分率等を記入してください。

## 支 出 伝 票

会 派 名	新市民クラブ	議 員 名	田 辺 新								
支 出 年 度	平成30年度	整 理 番 号 (項目別)	11								
支 出 項 目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 調査研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費										
実施年月日	平成30年09月01日～平成30年09月30日										
支出年月日	平成30年09月30日										
支出金額	3,093円										
支 出 先	新潟市西蒲区巻甲1642-3 ASA巻 朝日新聞サービスアンカー巻										
使 途 内 容	『朝日新聞』（9月分 購読料として）										
備 考	1紙目 新潟日報										
領収書 添付											
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>18年9月分</p> <p>9月30日</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p><b>領 収 証</b></p> <p>田 辺 新 様</p> </div> </div> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">銘 柄 名</th> <th style="width: 10%;">部 数</th> <th style="width: 15%;">金 額</th> <th style="width: 35%;">合 計 金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>朝日新聞</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">3093</td> <td style="text-align: center;">3,093 円</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 5px;">上記金額を領収しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: left;"> <p>ASA巻 朝日新聞サービスアンカー巻</p> <p>〒953-0041 新潟市西蒲区巻甲1642-3</p> <p>TEL 0256-73-7607</p> </div> <div style="text-align: center;"> </div> </div> <p style="text-align: center; font-size: small; margin-top: 10px;">ご購入ありがとうございます。領収金額には、消費税が含まれています。</p>				銘 柄 名	部 数	金 額	合 計 金 額	朝日新聞	1	3093	3,093 円
銘 柄 名	部 数	金 額	合 計 金 額								
朝日新聞	1	3093	3,093 円								

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

領収書添付用紙

第1紙 新潟日報

領 収 書

No. 206-42

30年 6月 27日

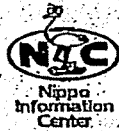
田 辺 新 様

金 57,116 -

収 入  
印 紙

但し H30.4.11 ~ H31.3月分

新潟日報 朝刊 (2020) 12月分



新潟県新潟市西蒲区蛸甲2204

新潟日報 NIC 巻

有限会社 古寺新聞店

電話 (0256) 72-2016

※重ならないように貼付してください。

## 支 出 伝 票

会 派 名	新市民クラブ	議 員 名	田 辺 新
支 出 年 度	平成30年度	整 理 番 号 (項目別)	1 2
支 出 項 目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 調査研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	平成30年09月01日～平成30年09月30日		
支出年月日	平成30年09月30日		
支出金額	1,887円		
支 出 先	長岡市 大島新町 2-1-2    販売店 安藤勝弘		
使 途 内 容	『公明新聞』(9月分)購読料として		
備 考	1紙目 新潟日報		



領収書 添付

<p style="text-align: center;"><b>領 収 証</b></p> <p style="text-align: center;">新聞購読料</p> <p>田辺新様</p> <p>ご購入ありがとうございます。 下記金額を正に領収いたしました。 2018年9月分</p> <p style="text-align: right;">領収日 9月30日</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: right;">領収金額</td> <td style="text-align: center;">#1,887</td> </tr> </table>	領収金額	#1,887	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">品名</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">数量</td> <td style="width: 40%; text-align: center;">金額</td> </tr> <tr> <td>公明新聞</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1,887</td> </tr> </table>	品名	数量	金額	公明新聞	1	1,887	<p style="text-align: center;"><b>領 収 証</b></p> <p style="text-align: center;">その他購読料等</p> <p>安藤勝弘様</p> <p>ご購入ありがとうございます。 下記金額を正に領収いたしました。 2018年9月分</p> <p style="text-align: right;">領収日 9月30日</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: right;">領収金額</td> <td style="text-align: center;">#1,887</td> </tr> </table>	領収金額	#1,887
領収金額	#1,887											
品名	数量	金額										
公明新聞	1	1,887										
領収金額	#1,887											

販売店 安藤勝弘  
住所 長岡市大島新町2-1-2  
TEL 0258-27-4388    FAX 0258-28-0219  
お申込No. XXXXXXXXXX

備考欄には按分率等を記入してください。

## 支 出 伝 票

会 派 名	新市民クラブ	議 員 名	田 辺 新								
支 出 年 度	平成30年度	整理番号 (項目別)	13								
支 出 項 目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 調査研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費										
実施年月日	平成30年10月01日～平成30年10月31日										
支出年月日	平成30年10月28日										
支出金額	3,093円										
支 出 先	新潟市西蒲区巻甲1642-3 ASA巻 朝日新聞サービスアンカー巻										
使 途 内 容	『朝日新聞』（10月分 購読料として）										
備 考	/紙目 新潟日報										
領収書 添付											
 <div style="display: inline-block; vertical-align: middle;"> <p style="margin: 0;">領 収 証</p> <p style="margin: 0;">18 年 10 月分</p> <p style="margin: 0;">10月28日</p> <p style="margin: 0;">田 辺 新 様</p> </div>											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">銘 柄 名</th> <th style="width: 10%;">部 数</th> <th style="width: 15%;">金 額</th> <th style="width: 35%;">合 計 金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>朝日新聞</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: right;">3093</td> <td style="text-align: right; background-color: #cccccc;">3,093 円</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 5px;">上記金額を領収しました。</p>				銘 柄 名	部 数	金 額	合 計 金 額	朝日新聞	1	3093	3,093 円
銘 柄 名	部 数	金 額	合 計 金 額								
朝日新聞	1	3093	3,093 円								
ASA巻 朝日新聞サービスアンカー巻 〒953-0041 新潟市西蒲区巻甲1642-3 TEL 0256-73-7607											
ご購読ありがとうございます。領収金額には、消費税が含まれています。											

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。



領収書添付用紙

第1紙 新潟日報

領 収 書

No.206-42

20年 4 月 27 日

田 辺 新 様

金 57,116 -

取 入  
印 紙

但し H20.4.11 ~ H21.3月分

新潟日報 朝 刊 (2020年) 12ヶ月分



新潟県新潟市西蒲区巻甲2204

新潟日報 NIC 巻

有限会社 古寺新聞店

電話 (0256) 72-2016

※重ならないように貼付してください。

# 支 出 伝 票

会 派 名	新市民クラブ	議 員 名	田 辺 新
支 出 年 度	平成30年度	整理番号 (項目別)	14
支 出 項 目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 調査研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	平成30年10月01日～平成30年10月31日		
支出年月日	平成30年10月30日		
支出金額	1,887円		
支 出 先	長岡市 大島新町 2-1-2      販売店 安藤勝弘		
使 途 内 容	『公明新聞』(10月分)購読料として		
備 考			

領収書 添付

新聞購読料 領収証

田辺新様  
ご購入ありがとうございます。  
下記金額を正に領収いたしました。  
2018年10月分

領収日/0月30日  
#1,887

品名	定価	数量	金額
公明新聞	1,887	1	1,887

その他購読料等 領収証

品名	定価	数量	金額

販売店 安藤勝弘  
住所 長岡市大島新町2-1-2  
TEL 0258-27-4338 FAX 0258-28-0219

お申込No. XXXXXXXXXX

備考欄には按分率等を記入してください。

## 支 出 伝 票

会 派 名	新市民クラブ	議 員 名	田 辺 新								
支 出 年 度	平成30年度	整理番号 (項目別)	15								
支 出 項 目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 調査研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費										
実施年月日	平成30年11月01日～平成30年11月30日										
支出年月日	平成30年11月28日										
支 出 金 額	3,093円										
支 出 先	新潟市西蒲区巻甲1642-3 ASA巻 朝日新聞サービスアンカー巻										
使 途 内 容	『朝日新聞』(11月分 購読料として)										
備 考	1紙目 新潟日報										
領収書 添付											
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>領 収 証</p> <p>18 年 11 月分</p> <p>11月28日</p> </div> <div style="text-align: right;"> <p>田 辺 新 様</p> </div> </div> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">銘 柄 名</th> <th style="width: 10%;">部 数</th> <th style="width: 15%;">金 額</th> <th style="width: 35%;">合 計 金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>朝日新聞</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: right;">3093</td> <td style="text-align: right; border: 2px solid black;">3,093 円</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 5px;">上記金額を領収しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="font-size: small;"> <p>ASA巻 朝日新聞サービスアンカー巻</p> <p>〒953-0041 新潟市西蒲区巻甲1642-3</p> <p>TEL 0256-73-7607</p> </div> </div> <p style="text-align: center; font-size: x-small; margin-top: 10px;">ご購読ありがとうございます。領収金額には、消費税が含まれています。</p>				銘 柄 名	部 数	金 額	合 計 金 額	朝日新聞	1	3093	3,093 円
銘 柄 名	部 数	金 額	合 計 金 額								
朝日新聞	1	3093	3,093 円								

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

領収書添付用紙

第1紙 新潟日報

領 収 書

No.206-42

90年 4 月 27 日

田 辺 新 様

金 57,116 -

収 入  
印 紙

但し H30 4月 ~ H31 3月分

新潟日報 朝 刊 (H30.9.1) 12ヶ月分



新潟県新潟市西蒲区巻甲2204

新潟日報 NIC 巻

有限会社 古寺新聞店

電話 (0256) 72-2016

※重ならないように貼付してください。

## 支 出 伝 票

会 派 名	新市民クラブ	議 員 名	田 辺 新
支 出 年 度	平成30年度	整理番号 (項目別)	16
支 出 項 目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 調査研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	平成30年11月01日～平成30年11月30日		
支出年月日	平成30年11月30日		
支出金額	1,887円		
支 出 先	長岡市 大島新町 2-1-2      販売店 安藤勝弘		
使 途 内 容	『公明新聞』(11月分)購読料として		
備 考	1紙目新潟日報		

領収書 添付

<p style="text-align: center;">新聞購読料 領 収 証</p> <p style="text-align: center;">田辺 新 様</p> <p style="font-size: small;">ご購入ありがとうございます。 下記金額を正に領収いたしました。 2018年11月分</p> <p style="text-align: right;">領収日 〃 月 〃 日</p> <p style="text-align: right; font-size: large;">領収金額 ¥1,887</p>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; border: 1px solid black; text-align: center;">品 名</td> <td style="width: 30%; border: 1px solid black; text-align: center;">定価(税別) 金額</td> <td style="width: 40%; border: 1px solid black;"></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black;"></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black;"></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black;"></td> </tr> </table>	品 名	定価(税別) 金額											<p style="text-align: center;">その他購読料等 領 収 証</p> <p style="text-align: center;">公明新聞</p> <p style="font-size: small;">領収金額 ¥1,887</p>
品 名	定価(税別) 金額													
<p>販売店 安藤勝弘 住 所 長岡市大島新町2-1-2 TEL 0258-27-4338      FAX 0258-28-0211</p> <p style="text-align: right;">お申込No. <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span></p>														

備考欄には按分率等を記入してください。

## 支 出 伝 票

会 派 名	新市民クラブ	議 員 名	田 辺 新								
支 出 年 度	平成30年度	整理番号 (項目別)	17								
支 出 項 目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 調査研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費										
実施年月日	平成30年12月01日～平成30年12月31日										
支出年月日	平成30年12月28日										
支出金額	3,093円										
支 出 先	新潟市西蒲区巻甲1642-3 ASA巻 朝日新聞サービスアンカー巻										
使 途 内 容	『朝日新聞』（12月分 購読料として）										
備 考	1紙目 新潟日報										
領収書 添付											
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <h3>領 収 証</h3> <p>18 年 12 月分</p> <p>12月28日</p> </div> <div style="text-align: right;"> <p>田 辺 新 様</p> </div> </div> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">銘 柄 名</th> <th style="width: 10%;">部 数</th> <th style="width: 15%;">金 額</th> <th style="width: 35%;">合 計 金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>朝日新聞</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: right;">3093</td> <td style="text-align: right; border: 2px solid black;">3,093 円</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 5px;">上記金額を領収しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: left;"> <p>ASA巻 朝日新聞サービスアンカー巻</p> <p>〒953-0041 新潟市西蒲区巻甲1642-3</p> <p>TEL 0256-73-7607</p> </div> <div style="text-align: right;"> </div> </div> <p style="text-align: center; font-size: small; margin-top: 10px;">ご購入ありがとうございます。領収金額には、消費税が含まれています。</p>				銘 柄 名	部 数	金 額	合 計 金 額	朝日新聞	1	3093	3,093 円
銘 柄 名	部 数	金 額	合 計 金 額								
朝日新聞	1	3093	3,093 円								

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

領収書添付用紙

第1紙 新潟日報

領 収 書

No.206-42

20年 4 月 27 日

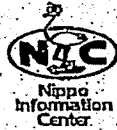
田 辺 新 様

金 57,116 -

取 入  
印 紙

但し H20.4.11 ~ H21.3月分

新潟日報 朝刊 (2020) 1254分



新潟県新潟市西蒲区巻甲2204

新潟日報 NIC 巻

有限会社 古寺新聞店

電話 (0256) 72-2016

※重ならないように貼付してください。

## 支 出 伝 票

会 派 名	新市民クラブ	議 員 名	田 辺 新
支 出 年 度	平成30年度	整 理 番 号 (項目別)	18
支 出 項 目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 調査研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	平成30年12月01日～平成30年12月31日		
支出年月日	平成30年12月29日		
支出金額	1,887円		
支 出 先	長岡市 大島新町 2-1-2    販売店 安藤勝弘		
使 途 内 容	『公明新聞』(12月分)購読料として		
備 考	/紙目 新潟日報		



領収書 添付

<p style="text-align: center;">新聞購読料 領 収 証</p> <p style="text-align: center;">田辺 新 様</p> <p>ご購入ありがとうございます。 下記金額を正に領収いたしました。 2018年12月分</p> <p style="text-align: right;">領収日 12月29日</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">領収金額</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">¥1,887</td> </tr> </table>	領収金額	¥1,887	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 30%;">品 名</th> <th style="width: 30%;">定価(税別)</th> <th style="width: 30%;">部 数</th> <th style="width: 10%;">金額</th> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	品 名	定価(税別)	部 数	金額					<p style="text-align: center;">その他購読料等 領 収 証</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 30%;">品 名</th> <th style="width: 30%;">定価(税別)</th> <th style="width: 30%;">部 数</th> <th style="width: 10%;">金額</th> </tr> <tr> <td>公明新聞</td> <td>1,887</td> <td>1</td> <td>1,887</td> </tr> </table>	品 名	定価(税別)	部 数	金額	公明新聞	1,887	1	1,887
領収金額	¥1,887																			
品 名	定価(税別)	部 数	金額																	
品 名	定価(税別)	部 数	金額																	
公明新聞	1,887	1	1,887																	
<p>販売店 安藤勝弘 住所 長岡市大島新町2-1-2 TEL 0258-27-3338 FAX 0258-28-0219</p>	<p>田辺 新 様</p>	<p>田辺 新 様</p>																		

備考欄には按分率等を記入してください。



## 支 出 伝 票

会 派 名	新市民クラブ	議 員 名	田 辺 新								
支 出 年 度	平成30年度	整理番号 (項目別)	19								
支 出 項 目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 調査研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費										
実施年月日	平成31年01年01日～平成31年01月31日										
支出年月日	平成31年01月28日										
支 出 金 額	3,093円										
支 出 先	新潟市西蒲区巻甲1642-3 ASA巻 朝日新聞サービスアンカー巻										
使 途 内 容	『朝日新聞』(1月分)購読料として										
備 考	1紙目 新潟日報										
領収書 添付											
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;">  <div style="text-align: center;"> <h3>領 収 証</h3> <p>19 年 1 月分</p> <p>1月28日</p> <p>田 辺 新 様</p> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">銘 柄 名</th> <th style="width: 10%;">部 数</th> <th style="width: 15%;">金 額</th> <th style="width: 15%;">合 計 金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>朝日新聞</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: right;">3093</td> <td style="text-align: right; border: 2px solid black;">3,093 円</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">上記金額を領収しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="font-size: x-small;">             ASA巻 朝日新聞サービスアンカー巻              〒953-0041 新潟市西蒲区巻甲1642-3              TEL 0256-73-7607           </div> <div style="text-align: center;">  <p style="font-size: x-small;">領 収 印 朝日新聞専売店</p> </div> </div> </div>				銘 柄 名	部 数	金 額	合 計 金 額	朝日新聞	1	3093	3,093 円
銘 柄 名	部 数	金 額	合 計 金 額								
朝日新聞	1	3093	3,093 円								
ご購読ありがとうございます。領収金額には、消費税が含まれています。											

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

領収書添付用紙

第1紙 新潟日報

領 収 書

No.206-42

20年 4 月 27 日

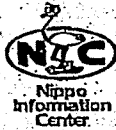
田 辺 新 様

金 57,116 -

取 入  
印 紙

但し H30.4.11 ~ H31.3月分

新潟日報 朝刊 (H30.2.1) 12ヶ月分



新潟県新潟市西蒲区巻甲2204

新潟日報 NIC 巻

有限会社 古寺新聞店

電話 (0256) 72-2016

※重ならないように貼付してください。

## 支 出 伝 票

会 派 名	新市民クラブ	議 員 名	田 辺 新
支 出 年 度	平成30年度	整理番号 (項目別)	20
支 出 項 目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 調査研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	平成31年01月01日～平成31年01月31日		
支出年月日	平成31年01月29日		
支出金額	1,887円		
支 出 先	長岡市 大島新町 2-1-2    販売店 安藤勝弘		
使 途 内 容	『公明新聞』(1月分) 購読料として		
備 考	/紙目 新潟日報		

領収書 添付

新聞購読料 領 収 証

田辺 新 様

ご購入ありがとうございます。  
下記金額を正に領収いたしました。

2019年1月分    領収日/ 月/日

#1,887

品 名	金額	
公明新聞	1,887	1
1,887		1

その他購読料等 領 収 証

安藤 勝弘  
長岡市大島新町2-1-2  
TEL 0258-27-4388 FAX 0258-28-0219


京申込No. [REDACTED]

備考欄には按分率等を記入してください。

## 支 出 伝 票

会 派 名	新市民クラブ	議 員 名	田 辺 新
支 出 年 度	平成30年度	整理番号 (項目別)	21
支 出 項 目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 調査研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	平成31年02月01日～平成31年02月28日		
支出年月日	平成31年02月26日		
支 出 金 額	3,093円		
支 出 先	新潟市西蒲区巻甲1642-3 ASA巻 朝日新聞サービスアンカー巻		
使 途 内 容	『朝日新聞』(2月) 購読料として		
備 考	1紙目新潟日報		

領収書 添付



19年2月分  
2月26日


### 領 収 証

田 辺 新 様

銘 柄 名	部 数	金 額	合 計 金 額
朝日新聞	1	3093	3,093 円

上記金額を領収しました。

ASA巻 朝日新聞サービスアンカー巻  
〒953-0041 新潟市西蒲区巻甲1642-3  
TEL 0256-73-7607



ご購入ありがとうございます。領収金額には、消費税が含まれています。

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

領収書添付用紙

第1紙 新潟日報

領 収 書

No.206-42

30年4月27日

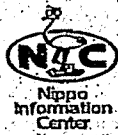
田 辺 新 様

金 57,116 -

収 入  
印 紙

但し H30.4.11 ~ H31.3月分

新潟日報 朝刊 (H30.4.11 ~ 12月分)



新潟県新潟市西蒲区巻甲2204

新潟日報 NIC 巻

有限会社 古寺新聞店

電話 (0256) 72-2016

※重ならないように貼付してください。

# 支 出 伝 票



会 派 名	新市民クラブ	議 員 名	田 辺 新
支 出 年 度	平成30年度	整理番号 (項目別)	22
支 出 項 目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 調査研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	平成31年02年01日～平成31年02月28日		
支出年月日	平成31年02月26日		
支出金額	1,887円		
支 出 先	長岡市 大島新町 2-1-2      販売店 安藤勝弘		
使 途 内 容	『公明新聞』(2月分)購読料として		
備 考	1紙目 新潟日報		

領収書 添付

<p style="text-align: center;"><b>新聞購読料 領 収 証</b></p> <p style="text-align: center;">田 辺 新 様</p> <p>ご購読ありがとうございます。 下記金額を正に領収いたしました。</p> <p style="text-align: right;">領収日 2019年2月26日</p> <p style="text-align: right; font-size: 1.2em;">¥1,887</p>	<table border="1" style="width: 100%; height: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 25%;"></td><td style="width: 25%;"></td><td style="width: 25%;"></td><td style="width: 25%;"></td></tr> <tr><td style="width: 25%;"></td><td style="width: 25%;"></td><td style="width: 25%;"></td><td style="width: 25%;"></td></tr> <tr><td style="width: 25%;"></td><td style="width: 25%;"></td><td style="width: 25%;"></td><td style="width: 25%;"></td></tr> <tr><td style="width: 25%;"></td><td style="width: 25%;"></td><td style="width: 25%;"></td><td style="width: 25%;"></td></tr> </table>																	<p style="text-align: center;"><b>その他購読料等 領 収 証</b></p> <p style="text-align: center;">公明新聞</p> <p style="text-align: right;">1,887</p> <p style="text-align: right; font-size: 1.2em;">¥1,887</p>
<p>販売店 安藤勝弘 住 長岡市大島新町2-1-2 TEL 0258-27-4338 FAX 0258-28-0219</p>			<div style="background-color: black; width: 50px; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="background-color: black; width: 50px; height: 20px;"></div>															

備考欄には按分率等を記入してください。

## 支 出 伝 票

会 派 名	新市民クラブ	議 員 名	田 辺 新								
支 出 年 度	平成30年度	整 理 番 号 (項目別)	23								
支 出 項 目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 調査研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費										
実施年月日	平成31年03月01日～平成31年03月28日										
支出年月日	平成31年03月28日										
支出金額	3,093円										
支 出 先	新潟市西蒲区巻甲1642-3 ASA巻 朝日新聞サービスアンカー巻										
使 途 内 容	『朝日新聞』（3月） 購読料として										
備 考	1紙目 新潟日報										
領収書 添付											
 <div style="display: inline-block; text-align: right;"> <p style="margin: 0;">領 収 証</p> <p style="margin: 0;">19 年 3 月分</p> <p style="margin: 0;">3月28日</p> <p style="margin: 0;">田 辺 新 様</p> </div>											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">銘 柄 名</th> <th style="width: 10%;">部 数</th> <th style="width: 10%;">金 額</th> <th style="width: 20%;">合 計 金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>朝日新聞</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: right;">3093</td> <td style="text-align: right;">3,093 円</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 5px;">上記金額を領収しました。</p>				銘 柄 名	部 数	金 額	合 計 金 額	朝日新聞	1	3093	3,093 円
銘 柄 名	部 数	金 額	合 計 金 額								
朝日新聞	1	3093	3,093 円								
<p style="margin: 0;">ASA巻 朝日新聞サービスアンカー巻</p> <p style="margin: 0;">〒953-0041 新潟市西蒲区巻甲1642-3</p> <p style="margin: 0;">TEL 0256-73-7607</p> <div style="float: right; text-align: center;">  </div>											
ご購入ありがとうございます。領収金額には、消費税が含まれています。											

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

領収書添付用紙

第1紙 新潟日報

領 収 書

No. 206-42

20年 4 月 27 日

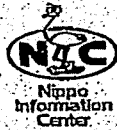
田 辺 新 様

金 57,116 -

収 入  
印 紙

但し H30.4.11 ~ H31.3月分

新潟日報 朝刊 (2020年) 12月分



新潟県新潟市西蒲区巻甲2204

新潟日報 NIC 巻

有限会社 古寺新聞店

電話 (0256) 72-2016

※重ならないように貼付してください。



## 支 出 伝 票

会 派 名	新市民クラブ	議 員 名	田 辺 新
支 出 年 度	平成30年度	整 理 番 号 (項目別)	24
支 出 項 目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 調査研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	平成31年03月01日～平成31年03月31日		
支出年月日	平成31年03月31日		
支出金額	1,887円		
支 出 先	長岡市 大島新町 2-1-2    販売店 安藤勝弘		
使 途 内 容	『公明新聞』（3月分）購読料として		
備 考	1紙目 新潟日報		
領収書 添付			

### 新聞購読料 領 収 証

田辺 新 様

ご購入ありがとうございます。  
下記金額を正に領収いたしました。

2019年3月分    領収日 3月3日    金額 ¥1,887

品名	定価	数量	金額

### その他購読料等 領 収 証

品名	定価	数量	金額
公明新聞	1,887	1	1,887

販売店 安藤勝弘  
住 長岡市大島新町2-1-2  
TEL 0258-27-4338    FAX 0258-28-0219

お申込み

備考欄には按分率等を記入してください。

## 支 出 伝 票

会 派 名	新市民クラブ	議 員 名	田 辺 新
支 出 年 度	平成30年度	整理番号 (項目別)	25
支 出 項 目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 調査研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	平成30年04月01日～平成30年09月30日		
支出年月日	平成31年04月24日		
支 出 金 額	15,738円		
支 出 先	新潟市西蒲区漆山 8833番地 越後中央農業協同組合 漆山資材センター		
使 途 内 容	<del>日本農業</del> 『全県(新潟)新聞』(30年4月～30年9月まで)購読料として		
備 考	1紙目 新潟日報		
領収書 添付			

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

# 領収書添付用紙

ANo 2568-33

31年4月24日

## 領収証

田辺新様

金額	円	千	円
		157	08

但 農研新聞(00.4.20.9)代金

内消費税等

上記金額正に領収いたしました

新潟県新潟市西蒲区漆山8833番  
**越後中央農業協同組合**  
 取扱元

漆山資材センター

現金	
小切手	
口座	15708

収入印紙  
貼付

④ 社会員は収入印紙貼付不要。(各社会員の家族は5万円未満不課)

担当者印

※重ならないように貼付してください。

## 支 出 伝 票

会 派 名	新市民クラブ	議 員 名	田 辺 新
支 出 年 度	平成 30 年度	整理番号 (項目別)	26
支 出 項 目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 調査研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	平成30年04月01日～平成31年03月31日		
支出年月日	平成31年04月23日		
支出金額	54,000円		
支 出 先	(株)内外ニュース新潟支社		
使 途 内 容	内外ニュース新潟懇談会「講演会講師料」及び「定期刊行物代金」		
備 考	①懇談会(年3～4回)、②週刊・月刊「世界と日本」刊行物など		
領収書 添付			

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

# 領収書添付用紙

## 領 収 証

平成 31 年 4 月 23 日

田 辺 新 様

¥ 5 4 , 0 0 0 円

但 平成 3 0 年 度 分 会 費 と し て  
上 記 正 に 領 収 い た し ま し た



新潟市中央区西堀通四番町 259-58  
西堀青藍館 2F (大倉企業(株)内)  
株内外ニユース 新潟支社  
支社長 関 本 俊 之

※重ならないように貼付してください。

# 納品書・請求書添付用紙

平成 31 年 1 月 15 日

請 求 書

田 辺 新 様

新潟市中央区西堀通四番町 259-58  
 西堀青藍館 2F 大倉企業㈱内  
 内外ニュース 新潟支社  
 支社長 関本 俊之  
 TEL025-223-1033 FAX025-228-0521

下記の通りご請求申し上げます。

税込合計金額 ￥54,000円

内 容	請求期間	金 額	摘 要
内外ニュース懇談会会費	平成30年度分	50,000	
消 費 税		4,000	
合 計		54,000	

※重ならないように貼付してください。

## （株）内外ニュース 会員募集中

（株）内外ニュース〔本社：東京都港区虎ノ門 社長 千葉榮爾〕では、出版物（週刊及び旬刊『世界と日本』）や懇談会を通じて・公正な報道と的確な解説により・世論の指導と啓発の役割を担っています。

特に、新潟県内のオピニオン・リーダーズを対象とした事業活動には熱意をもって取り組んでいるところです。

つきましては、当社の使命にご賛同いただき、スローガンに掲げた『再び明るい日本へ』に参画いただくよう期待するものです。

新潟支社では、下記の活動を通じて、会員各位との密接な連携のもと、『新潟懇談会』の開催など各種の事業を展開しておりますので、是非とも各位からご理解を賜りたくご案内申し上げます。

### 記

#### 1 新潟懇談会の開催

定例会（年4回程度開催）には、本社から派遣される政界・財界・著名人の方々からの講演（昼食懇談）があり、好評をいただいております。

#### 2 機関紙の発行

- ・週刊「世界と日本」 月2回発行
- ・旬刊「世界と日本」 毎月1回発行

#### 3 会費

- ・正会員：会則によります。  
ただし、キャンペーン期間中 108,000円（消費税込み）  
\*懇談会（新潟・東京）への毎回ご案内、週刊・旬刊のお届け。
- ・準会員：54,000円（消費税込み）  
\*新潟懇談会の特定日（年2回）へのご案内、週刊・旬刊のお届け
- ・上記のほか、いろいろご相談に応じます。

#### 会員の加入・申込みは

（株）内外ニュース 新潟支社

支社長 関本 俊之

〒951-8061 新潟市中央区西堀通四番町 259-58

西堀青藍館 2F 大倉企業株式会社内

TEL 025-223-1033 fax 025-228-5111